

(様式第 10)

鹿大病総第 410 号
令和 3 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人鹿児島大学長
佐野 輝

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元 1 丁目 21 番 24 号
氏 名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鹿児島大学病院

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号	電話 (099) 275 - 5111
-------------------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
<p>1 呼吸器内科</p> <p>5 神経内科</p> <p>9 感染症内科</p>	<p>2 消化器内科</p> <p>6 血液内科</p> <p>10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科</p>	<p>3 循環器内科</p> <p>7 内分泌内科</p> <p>11 リウマチ科</p>
4 腎臓内科	8 代謝内科	
診療実績		
「3 循環器内科」は「心臓血管内科」、「5 神経内科」は「脳神経内科」、「6 血液内科」は「血液・膠原病内科」、「7 内分泌内科」は「糖尿病・内分泌内科」、「11 リウマチ科」は「整形外科・リウマチ外科」、「8 代謝内科」・「9 感染症内科」・「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」は、「皮膚科」・「耳鼻咽喉科」・「呼吸器内科」等の複数の診療科で診療を行っている。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 6心臓血管外科 7内分泌外科 8小児外科	
診療実績 「7内分泌外科」は、「乳腺・甲状腺外科」で診療を行っている。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心身医療科	2 リハビリテーション科	3 病理診断科	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21			

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	1床	0床	0床	612床	653床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	230人	279人	428人	看護補助者	46人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	101人	61人	113.3人	理学療法士	20人	臨床検査技師	49人
薬 剤 師	53人	0人	53人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	3人
助 産 師	21人	1人	21.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	662人	33人	686人	臨床工学士	22人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	26人
歯科衛生士	14人	2人	16人	歯科技工士	3人	事務職員	166人
管理栄養士	9人	4人	13人	診療放射線技師	38人	その他の職員	93人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	48人	眼科専門医	10人
外科専門医	45人	耳鼻咽喉科専門医	7人
精神科専門医	11人	放射線科専門医	17人
小児科専門医	14人	脳神経外科専門医	13人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	19人
産婦人科専門医	16人	救急科専門医	9人
		合 計	240人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (坂本 泰二) 任命年月日 令和 2年 4月 1日

- ・副病院長 (医科担当) (平成29年度～令和元年度)
- ・医療安全管理委員会 委員 (平成29年度～令和2年度)
- ・感染症対策委員会 委員 (令和元年度～令和2年度)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	524.4人	24.4人	548.9人
1日当たり平均外来患者数	1085.3人	418.6人	1503.9人
1日当たり平均調剤数	1,043 剤		
必要医師数	120人		
必要歯科医師数	8人		
必要薬剤師数	19人		
必要(准)看護師数	325人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	320m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 379m ² [移動式の場合] 台数 1台		病床数	26床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 90m ² [共用室の場合] 共用する室名 病棟薬剤業務管理室					
化学検査室	304m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) デイスクリート方式臨床化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ			
細菌検査室	45m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、微生物分類同定分析装置、微生物感受性分析装置、微生物由来成分分析装置、安全キャビネット			
病理検査室	137m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式ミクローム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色・ISH装置、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム、液状処理細胞診前処理装置			
病理解剖室	55m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) ハイカザード対応排気システム、排水蒸気滅菌処理システム			
研究室	8,026m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ガスクロマトグラフ、電子顕微鏡			
講義室	655m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	収容定員	499人
図書室	1,980m ²	鉄筋コンクリート	室数	8室	蔵書数	168,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	77.3%	逆紹介率	72.6%
算出根拠	A：紹介患者の数			14,359人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14,540人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,112人
	D：初診の患者の数			20,009人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO 法人 がんサポート かごしま		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 鹿児島大学ホームページにおいて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インターフェロンα皮下投与及びシドブシン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん	0人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	0人
S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
2	球脊髄性筋萎縮症	66	特発性間質性肺炎	37
8	筋萎縮性側索硬化症	67	肺動脈性肺高血圧症	38
26	脊髄性筋萎縮症	68	慢性血栓性肺高血圧症	34
5	進行性核上性麻痺	69	リンパ管筋腫症	2
73	パーキンソン病	70	網膜色素変性症	47
2	大脳皮質基底核変性症	71	バッド・キアリ症候群	1
1	ハンチントン病	72	原発性胆汁性肝硬変	18
3	シャルコー・マリー・トウス病	73	原発性硬化性胆管炎	2
86	重症筋無力症	74	自己免疫性肝炎	17
61	多発性硬化症/視神経脊髄炎	75	クローン病	70
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	76	潰瘍性大腸炎	88
1	封入体筋炎	77	好酸球性消化管疾患	9
4	クロウ・深瀬症候群	78	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
9	多系統萎縮症	79	クリオピリン関連周期熱症候群	1
33	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	80	若年性特発性関節炎	7
15	ライソゾーム病	81	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	19
1	副腎白質ジストロフィー	82	特発性後天性全身性無汗症	7
16	ミトコンドリア病	83	弾性線維性仮性黄色腫	2
40	もやもや病	84	マルファン症候群	7
1	プリオン病	85	ウイルソン病	2
19	HTLV-1関連脊髄症	86	コフィン・ローリー症候群	1
11	全身性アミロイドーシス	87	アントレー・ピクスラー症候群	1
35	神経線維腫症	88	多脾症候群	1
17	天疱瘡	89	無脾症候群	3
17	膿疱性乾癬(汎発型)	90	ウェルナー症候群	1
17	富安動脈炎	91	ブラダー・ウィリ症候群	1
3	巨細胞性動脈炎	92	22q11.2欠失症候群	2
5	結節性多発動脈炎	93	修正大血管転位症	1
21	顕微鏡的多発血管炎	94	完全大血管転位症	1
9	多発血管炎性肉芽腫症	95	単心室症	4
18	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	96	家族性地中海熱	1
4	悪性関節リウマチ	97	慢性再発性多発性骨髄炎	1
4	パージャー病	98	強直性脊椎炎	7
2	原発性抗リン脂質抗体症候群	99	クロンカイト・カナダ症候群	3
308	全身性エリテマトーデス	100	胆道閉鎖症	2
109	皮膚筋炎/多発性筋炎	101	アラジール症候群	1
112	全身性強皮症	102	IgG4関連疾患	15
37	混合性結合組織病	103	黄斑ジストロフィー	2
38	シェーグレン症候群	104	好酸球性副鼻腔炎	7
16	成人スチル病	105	筋ジストロフィー	6
2	再発性多発軟骨炎	106	脊髄空洞症	3
80	ベーチェット病	107	アイザックス症候群	4
30	特発性拡張型心筋症	108	遺伝性ジストニア	1
11	肥大型心筋症	109	神経細胞移動異常症	1
16	再生不良性貧血	110	ウエスト症候群	1
3	自己免疫性溶血性貧血	111	早期ミオクローニー脳症	1
26	特発性血小板減少性紫斑病	112	結節性硬化症	3
9	原発性免疫不全症候群	113	左心低形成症候群	2
18	IgA腎症	114	三尖弁閉鎖症	2
32	多発性嚢胞腎	115	ファロー四徴症	7
12	黄色靱帯骨化症	116	両大血管右室起始症	2
47	後縦靱帯骨化症	117	エプスタイン病	1
3	広範脊柱管狭窄症	118	アルポート症候群	1
34	特発性大腿骨頭壊死症	119	抗糸球体基底膜腎炎	1
16	下垂体性ADH分泌異常症	120	一次性ネフローゼ症候群	7
4	下垂体性TSH分泌亢進症	121	紫斑病性腎炎	3
5	下垂体性PRL分泌亢進症	122	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1
8	クッシング病	123	オスラー病	3
1	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	124	肺胞低換気症候群	1
28	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	125	α1-アンチトリプシン欠乏症	1
147	下垂体前葉機能低下症	126	副甲状腺機能低下症	1
1	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	127	偽性副甲状腺機能低下症	1
3	先天性副腎皮質酵素欠損症	128	フェニルケトン尿症	2
2	アジソン病	129	プロピオン酸血症	1
64	サルコイドーシス	130	メチルマロン酸血症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数
131	肝型糖原病	1
132	進行性白質脳症	1

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1
・歯科外来診療環境体制加算2	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料	・入退院支援加算
・救急医療管理加算	・認知症ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・診療録管理体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神科急性期医師配置加算
・急性期看護補助体制加算	・救命救急入院料1
・看護職員夜間配置加算	・特定集中治療室管理料1
・看護補助加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・回復期リハビリテーション病棟入院料3
・無菌治療室管理加算1	・短期滞在手術等基本料2
・無菌治療室管理加算2	・入院時食事療養/生活療養(I)
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・ウイルス疾患指導料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・糖尿病合併症管理料	・遺伝学的検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・がん患者指導管理料イ	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
・がん患者指導管理料ロ	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・がん患者指導管理料ハ	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・がん患者指導管理料ニ	・精密触覚機能検査
・外来緩和ケア管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・がんゲノムプロファイリング検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・小児運動器疾患指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・乳腺炎重症化予防ケア指導料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・婦人科特定疾患治療管理料	・検体検査管理加算(I)
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(IV)
・ニコチン依存症管理料	・国際標準検査管理加算
・がん治療連携計画策定料	・遺伝カウンセリング加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・薬剤管理指導料	・胎児心エコー法
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・医療機器安全管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・医療機器安全管理料2	・人工臓器検査、人工臓器療法
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査

・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・救急患者精神科継続支援料
・脳波検査判断料1	・認知療法・認知行動療法1
・神経学的検査	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・補聴器適合検査	・医療保護入院等診療料
・ロービジョン検査判断料	・口腔粘膜処置
・コンタクトレンズ検査料1	・レーザー機器加算
・内服・点滴誘発試験	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・経気管支凍結生検法	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・画像診断管理加算3	・導入期加算1
・歯科画像診断管理加算1	・手術用顕微鏡加算
・歯科画像診断管理加算2	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・ポジトロン断層撮影	・心不全に対する遠赤外線温熱療法
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・CAD/CAM冠
・CT撮影及びMRI撮影	・手術時歯根面レーザー応用加算
・冠動脈CT撮影加算	・歯科技工加算1及び2
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・センチネルリンパ節加算
・外傷全身CT加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・心臓MRI撮影加算	・椎間板内酵素注入療法
・乳房MRI撮影加算	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・小児鎮静下MRI撮影加算	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・頭部MRI撮影加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来化学療法加算1	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・無菌製剤処理料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・網膜再建術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・がん患者リハビリテーション料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下肝切除術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・腹腔鏡下臍腫瘍摘出術
・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る)	・腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体腎移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・生体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・膀胱水圧拡張術
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・補助人工心臓	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・経皮的下肢動脈形成術	・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・輸血管管理料Ⅱ
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・同種クリオプレシピテート作製術	

・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・歯科麻酔管理料	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・保険医療機関間の連携による病理診断	
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
・病理診断管理加算2	
・デジタル病理画像による病理診断	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	
・口腔病理診断管理加算2	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	273
剖検の状況	剖検症例数 27 例 / 剖検率 14.9 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	坂本 泰二	眼科	16,000,000	補○ 厚生労働省 委補○
硝子体学の発展的研究	坂本 泰二	眼科	4,550,000	委補○ 日本学術振興会
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	委補○ 垂水中央病院
鹿児島県内(おもに肝付地区)の眼科疾患の概要	坂本 泰二	眼科	500,000	委補○ 肝属郡医師会立病院
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	委補○ 出水市病院事業
【長寿研20-12】フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	大石 充	心臓血管内科	600,000	委補○ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
【長寿研30-8】高齢者の認知機能低下に配慮した至適血圧域の解明: 老年期にある健康者と軽度認知機能低下患者を対象とした、認知機能保持ないしその改善を最終目的とした、適切な血圧管理法	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	委補○ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
【長寿研30-1】オレンジレジストリを活用した認知症予防とケアに関する研究	大石 充	心臓血管内科	500,000	委補○ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
メタボリック症候群と心房細動有病率との関連性の評価	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	委補○ えびの市
レジストリデータに基づいた経口抗凝固薬を適切に選択するための研究(略称: Strawberry研究)	大石 充	心臓血管内科	54,000	補 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 委補○
メタボリック症候群と心房細動有病率との関連性の評価	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	委補○ 垂水中央病院
メタボリック症候群と心房細動有病率との関連性の評価	大石 充	心臓血管内科	500,000	委補○ 肝属郡医師会立病院
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	委補○ 枕崎市立病院事業
食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備に係る実証事業における、当該実証事業の手法の開発および研究遂行にかかる業務	大石 充	心臓血管内科	1,040,000	委補○ 特定非営利活動法人 日本高血圧学会
オルタナティブオートファジーとマクロファージを標的としたサルコペニア治療法の確立	池田 義之	心臓血管内科	1,430,000	委補○ 日本学術振興会
(独法)【窪田】BPA治療による血行動態改善後のOTEPH患者における心肺運動負荷試験時ピーク心係数に及ぼすリオングアットの効果～多施設共同二重盲検ランダム化比較試験～	窪田 佳代子	心臓血管内科	220,000	委補○ 独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
Fabry病の新規αガラクトシダーゼ遺伝子変異による酵素の生体内動態に関する研究	樋口 公嗣	心臓血管内科	0	委補○ 日本学術振興会
心房細動患者の認知症予防に関する研究-脳血管障害・血管内皮機能障害との関連-	市来 仁志	心臓血管内科	1,170,000	委補○ 日本学術振興会
抗がん剤による心筋および骨格筋障害に対するミトコンドリアを介した新規治療法の開発	赤崎 雄一	心臓血管内科	910,000	委補○ 日本学術振興会
小児心臓手術の人工心臓が活性化白血球を介して全身へ与える影響の分子メカニズム解明	井本 浩	心臓血管外科	1,690,000	委補○ 日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における炎症、石灰化、凝固能に関するマイクロRNA、エクソソームの解析	井本 浩	心臓血管外科	1,000,000	委補○ 肝属郡医師会立病院
大動脈弁狭窄症による全身血管変化の分子機序解明-ずり応力による血小板活性化の役割	上田 英昭	心臓血管外科	1,820,000	委補○ 日本学術振興会
(地公)肝疾患診療地域連携体制強化事業業務委託	井戸 章雄	消化器内科	13,106,300	委補○ 鹿児島県
(独法)令和2年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託	井戸 章雄	消化器内科	3,736,000	委補○ 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
非切除肝癌を対象とした腫瘍溶解性ウイルスの腫瘍内局所投与療法の有効性と安全性に関する医師主導治験	井戸 章雄	消化器内科	104,000,000	委補○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
傷害肝の修復におけるマクロファージの代謝スイッチと線維形成・吸収の制御機構の解明	井戸 章雄	消化器内科	2,106,000	委補○ 日本学術振興会
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	委補○ 国民健康保険 高原病院
粘膜下層剥離面治癒を促進するHGF含浸外用剤の開発	佐々木 文郷	消化器内科	1,430,000	委補○ 日本学術振興会
O型肝炎ウイルス直接作用薬治療不成功に関連する新たな薬剤耐性変異の機能解析	馬渡 誠一	消化器内科	0	委補○ 日本学術振興会
(地公)【大塚】機能性RNAネットワーク解析を用いた肝癌の治療標的分子の同定	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委補○ えびの市
ゲノム医療が導く究極の肝癌予防法・予防的降全摘術の適応患者とは?	大塚 隆生	消化器外科	6,630,000	委補○ 日本学術振興会
IPMNはなぜ肝癌の危険因子なのか?クローン拡大から肝癌早期診断への挑戦	大塚 隆生	消化器外科	2,860,000	委補○ 日本学術振興会

癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	補 委 ○	国民健康保険 高原病院
進行膵臓癌に対する化学放射線治療効果予測バイオマーカーの探索	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	補 委 ○	小林市立病院
肺癌の遠隔転移を制御するRNAネットワークの解明のための研究	大塚 隆生	消化器外科	1,200,000	補 委 ○	垂水中央病院
地域連携外科学共同研究講座	大塚 隆生	消化器外科	36,000,000	補 委 ○	社会医療法人卓翔会市比野 記念病院
(国大)【佐々木】CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	佐々木 健	消化器外科	22,000	補 委 ○	国立大学法人秋田大学
消化器癌個別化治療にむけた3D培養と共培養を用いた癌組織不均一性の基礎研究	喜多 芳昭	消化器外科	1,430,000	補 委 ○	日本学術振興会
SNPアレイおよびctDNAバーコードシーケンスを用いた食道早期がん診断法の確立	鶴田 祐介	消化器外科	780,000	補 委 ○	日本学術振興会
膵臓癌・機能性RNA発現解析に基づく、局所浸潤・遠隔転移に関わる分子経路の探索	伊地知 徹也	消化器外科	1,170,000	補 委 ○	日本学術振興会
Charcot-Marie-Tooth病の分子遺伝学的アプローチによる病態解明	高嶋 博	脳神経内科	5,850,000	補 委 ○	日本学術振興会
難治性神経疾患における免疫病態の解明と診断方法開発	高嶋 博	脳神経内科	500,000	補 委 ○	国立研究開発法人 国立精神・ 神経医療研究センター
中枢神経感染症における網羅的遺伝子解析技術の発展	高嶋 博	脳神経内科	400,000	補 委 ○	垂水中央病院
神経感染症における病原菌検索ならびに宿主側の病因解析	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	補 委 ○	肝属郡医師会立病院
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	補 委 ○	出水市病院事業
(独法)【橋口】遅発型慢性経過SMA患者の歩行機能に対するヌシネルセン(スピルラザチン12mg)の治療効果に関する観察研究(前向きおよび後向き多施設共同観察研究)	橋口 昭大	脳神経内科	30,030	補 委 ○	国立病院機構新潟病院
我が国で発見された遺伝性ニューロパチーの新規原因遺伝子から探る病態機序の解明	樋口 雄二郎	脳神経内科	2,210,000	補 委 ○	日本学術振興会
TGR1レプリア解析によるHAMの診断および病勢指標となるバイオマーカーの探索	野妻 智嗣	脳神経内科	1,430,000	補 委 ○	日本学術振興会
ミトコンドリア機能に着目した膠芽腫におけるHDAC7の機能解析	吉本 幸司	脳神経外科	1,300,000	補 委 ○	日本学術振興会
(他)【井上】在宅酸素療法を必要とする安定期COPD患者における長期高流量鼻カニューラ酸素療法に対する有効性及び安全性に関する検討:多施設前向きランダム化比較試験(FL)	井上 博雅	呼吸器内科	110,000	補 委 ○	公益財団法人 神戸医療産業 都市推進機構
呼吸器外来診療における超音波診断の有用性の研究	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	補 委 ○	垂水中央病院
小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	補 委 ○	肝属郡医師会立病院
重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	補 委 ○	出水市病院事業
(独法)【呼内・水野】PD-L1発現50%未満高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムプロリスマブ+ペムトレキセド療法の第2相試験	水野 圭子	呼吸器内科	55,000	補 委 ○	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
小細胞肺癌の機能性RNA統合解析に基づくドラッグ-リポジショニングの考案	水野 圭子	呼吸器内科	1,040,000	補 委 ○	日本学術振興会
気管支喘息の病態における気道上皮糖鎖修飾の役割についての解析	狹 博晃	呼吸器内科	1,560,000	補 委 ○	日本学術振興会
肥満喘息の難治化における時計遺伝子と生体内細菌叢の関わり	高木 弘一	呼吸器内科	2,080,000	補 委 ○	日本学術振興会
機能性RNA統合理解に基づく治療抵抗性小細胞肺癌に関わる分子経路の探索	美園 俊祐	呼吸器内科	1,170,000	補 委 ○	日本学術振興会
インドシアニンググリーン蛍光法の呼吸器外科手術への応用	佐藤 雅美	呼吸器外科	300,000	補 委 ○	垂水中央病院
食行動異常のメカニズム解明・新規治療法開発-骨髄由来細胞からのアプローチ-	浅川 明弘	心身医療科	1,560,000	補 委 ○	日本学術振興会
多面的アプローチによる尿路上皮癌における抗癌剤耐性機序の解明	中川 昌之	泌尿器科	1,560,000	補 委 ○	日本学術振興会
マイクロRNAによる新規泌尿器癌治療の開発のためのin vivo実験	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委 ○	小林市立病院
多面的アプローチによる膀胱癌のプライマリーレジスタンスを予測するマーカーの開発	中川 昌之	泌尿器科	300,000	補 委 ○	垂水中央病院
マイクロRNAによる新規泌尿器癌治療の開発のためのin vivo実験	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委 ○	肝属郡医師会立病院
ユビキチンプロテアソーム経路を標的とした進行性腎細胞癌に対する新規治療戦略の構築	吉野 裕史	泌尿器科	1,560,000	補 委 ○	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌におけるプロモドメイン蛋白による制癌機序の解明	坂口 大	泌尿器科	2,340,000	補 委 ○	日本学術振興会
骨髄増殖性腫瘍における非ドライバ遺伝子異常と血栓症リスク	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	補 委 ○	垂水中央病院

PROTAC技術を用いた成人T細胞白血病・リンパ腫に対する新規創薬基盤の樹立	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,560,000	補○ 委補	日本学術振興会
(独法)【西尾】電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	補○ 委補	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
転写因子Nrf2の活性化を利用してグルコーススパイクによる血管傷害を予防する。	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,560,000	補○ 委補	日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬ニボルマブが誘発する1型糖尿病、間質性肺疾患の発症に関連する原因遺伝子多型・変異の探索的研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	326,000	補○ 委補	国立大学法人長崎大学
体重コントロール不良なメトホルミン使用中の2型糖尿病症例に対するGLP-1製剤やSGLT-2阻害薬の併用が及ぼす影響の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	補○ 委補	垂水中央病院
体重コントロール不良なメトホルミン使用中の2型糖尿病症例に対するGLP-1製剤やSGLT-2阻害薬の併用が及ぼす影響の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	250,000	補○ 委補	肝属郡医師会立病院
枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	補○ 委補	枕崎市立病院事業
体重コントロール不良なメトホルミン使用中の2型糖尿病症例に対するGLP-1製剤やSGLT-2阻害薬の併用が及ぼす影響の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補○ 委補	出水市病院事業
神経有棘赤血球症の共通分子病態の解析	中村 雅之	神経科精神科	780,000	補○ 委補	日本学術振興会
成人発症白質脳症における包括的変異解析及び抽出した新規変異の機能解析	石塚 貴周	神経科精神科	1,040,000	補○ 委補	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病に対するてんかん発作を生じる症状修飾因子の検討	崎元 仁志	神経科精神科	2,080,000	補○ 委補	日本学術振興会
アジア協同基盤を用いた分類系統不明瞭な白血病(ALAL)に対する標準治療の開発	岡本 康裕	小児科	17,160,000	補○ 委補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	河野 嘉文	小児科	1,100,000	補○ 委補	枕崎市立病院事業
出水地区における小児疾患の予防策と保健業務の推進に関する研究	河野 嘉文	小児科	2,600,000	補○ 委補	出水市病院事業
アクロレイン除去によるシクロフォスファミド心筋障害予防法の研究	西川 拓朗	小児科	1,430,000	補○ 委補	日本学術振興会
核小体ストレス応答を利用した革新的な小児白血病治療の開発	中川 俊輔	小児科	1,560,000	補○ 委補	日本学術振興会
Liquid Biopsyによる胆道閉鎖症の出生前診断と胎児治療の可能性探索	家人 里志	小児外科	3,900,000	補○ 委補	日本学術振興会
腸管不全関連肝障害の克服へ向けたGLP-2の治療効果の実験的研究	矢野 圭輔	小児外科	800,000	補○ 委補	公益財団法人 川野小児医学奨学財団
拡散強調MRIテンソル画像解析による中枢神経発達を見据えた小児短腸患者に対する新規栄養管理治療法開発	矢野 圭輔	小児外科	1,300,000	補○ 委補	公益財団法人 母子健康協会
IFALDの病態解明に基づく大連中湯を用いた新規治療法の開発	矢野 圭輔	小児外科	1,430,000	補○ 委補	日本学術振興会
拡散強調MRIテンソル解析による中枢神経発達を見据えた小児短腸患者新規栄養法開発	春松 敏夫	小児外科	910,000	補○ 委補	日本学術振興会
縫合不全"0"を実現する高難度肝胆膵内視鏡外科手術シミュレータ開発	山田 耕嗣	小児外科	1,430,000	補○ 委補	日本学術振興会
Global SurgeryとしてのLow and middle-income countries (LMICs)における小児内視鏡外科手術の普及を目的とした外科医育成プログラムの開発	村上 雅一	小児外科	500,000	補○ 委補	公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団
(地公)特定診療科医師派遣事業業務委託	小林 裕明	産科、婦人科	17,841,376	補○ 委補	鹿児島県
子宮がんにおける摘出リンパ節を用いたOSNA法性能評価	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補○ 委補	出水市病院事業
婦人科癌手術の個別化医療に向けたセンチネルリンパ節理論の解明と分子病理診断の応用	戸上 真一	産科、婦人科	1,560,000	補○ 委補	日本学術振興会
婦人科癌へのHPMA-ZnPPを用いた光線力学的治療の臨床応用に向けた検討	築詰 伸太郎	産科、婦人科	1,560,000	補○ 委補	日本学術振興会
筋内脂肪浸潤と異所性骨化を決定するメカニズムの解明	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	1,820,000	補○ 委補	日本学術振興会
肩関節腱板損傷と変形性肩関節症の病態におけるHMGB1/2の機能解析及び治療法の開発	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	0	補○ 委補	学校法人常翔学園 大阪工業大学
TGF-βファミリー構成因子のSox9/Sox発現への効果の比較研究	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	補○ 委補	肝属郡医師会立病院
menopause handsにおけるSirt1の機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,690,000	補○ 委補	日本学術振興会
β-catenin類似分子CTNBL1の骨芽細胞分化選別機能の解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,560,000	補○ 委補	日本学術振興会
CD147/basigin のTh 細胞分化と乾癬病態形成に関する包括的研究	金蔵 拓郎	皮膚科	1,300,000	補○ 委補	日本学術振興会
HDAC阻害剤によるチロシinkinナーゼの活性化とCTCLの新規治療への応用	藤井 一恭	皮膚科	130,000	補○ 委補	日本学術振興会
痒疹の発症における皮膚γδT細胞の役割～2型・17型免疫応答の協働～	指宿 敦子	皮膚科	1,040,000	補○ 委補	日本学術振興会

HTLV-1関連眼疾患の診断法確立のための臨床的研究	中尾 久美子	眼科	0	補 ○ 委 補	日本学術振興会
定量眼科学による加齢黄斑変性症の病態解明	椎原 秀樹	眼科	1,820,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
喉頭気管粘膜傷害からの修復促進機序の解明	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
新規粘膜アジュバントを用いた広域スペクトラムワクチンの開発に関する研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	780,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
扁桃周囲膿瘍の膿瘍局在部位による起炎菌の違い	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補 ○ 委 補	垂水中央病院
屋久島町における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	732,000	補 ○ 委 補	屋久島町
細菌接着におけるホスホリルコリンの関与と新たな治療法の開発に関する研究	井内 寛之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,470,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
高齢者の肺炎球菌感染予防のためのホスホリルコリン経鼻追加ワクチンの開発	宮本 佑美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,340,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
血行再建術後の脳機能再構築: マルチパラメトリックMRIに基づく画像マーカーの創設	上村 清央	放射線科	1,430,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
MRI pHイメージングによる運動器カテーテル塞栓療法の治療効果予測法の開発	林 完勇	放射線科	1,560,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
18F-FDGの速度定数画像に基づく心サルコイドシスの活動性評価法の開発	中條 正豊	放射線科	1,170,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
抗癌剤分布を可視化するchemoCESTの開発と頭頸部悪性腫瘍への応用	内匠 浩二	放射線科	390,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
新たな食道疾患の発症機序の解明: 不正咬合と咀嚼筋障害に起因する口腔機能低下の影響	宮脇 正一	顎顔面放射線科	2,080,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
急性心筋梗塞における口腔一腸内細菌叢を主軸とした病態解明と治療法の開発	宮田 昌明	顎顔面放射線科	1,690,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
低酸素誘導因子を標的とした放射線耐性口腔癌新規治療戦略の確立に向けて	宮腰 昌明	顎顔面放射線科	1,430,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
パラメトリックエックス線、テラヘルツコヒーレント放射光を用いた悪性腫瘍の画像診断	川島 雄介	顎顔面放射線科	650,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
アスタキサンチンは敗血症性腎障害の新規治療薬となりえるか?	森山 孝宏	麻酔科	1,430,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
インビボ神経活動イメージングを用いた蘇生後脳症における鎮静薬の脳保護効果の検討	中原 真由美	麻酔科	780,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
オプトジェネティクスをもちいた麻酔薬による術後認知障害の機序の解明	向原 桂香	麻酔科	1,430,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
神経障害性疼痛が慢性化すると脊髄後角における疼痛メカニズムは変化するのか?	五代 幸平	麻酔科	1,690,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動機構の解明	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,950,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
バイオマーカー、心拍変動解析および加速度脈波を用いた左室拡張機能の推定法の確立	梶谷 淳	歯科麻酔科	1,430,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
聴覚を介する自律神経活動制御法の確立—時計遺伝子欠損マウスでの検討と臨床応用—	山下 薫	歯科麻酔科	780,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
延長型脳梗塞片麻痺モデルを用いた新たなリハビリテーションと脳神経可塑性の研究	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	6,240,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
脳損傷後の運動障害に対して多様な物理的刺激を応用した新しいリハビリ技術の開発	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	780,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討: 介入前後比較試験	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	300,000	補 ○ 委 補	垂水中央病院
上肢に対する振動刺激が脳皮質活動に与える影響-脳磁図による検討	河村 健太郎	リハビリテーション科	1,170,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
脳卒中による神経因性膀胱の病態解明と経皮的干渉波刺激を用いた非侵襲的治療の開発	大濱 倫太郎	リハビリテーション科	650,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
口腔細菌による動脈硬化発症における先天性免疫因子gp-340の機能解析	於保 孝彦	口腔保健科	1,300,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
口腔常在菌による誤嚥性肺炎発症機序の分子的解析と宿主リスク評価法	山口 泰平	口腔保健科	780,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
口腔バイオフィルムの動脈硬化誘発における病原性獲得メカニズムの解明	長田 恵美	口腔保健科	2,210,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
異なる口腔環境より採取したカンジダ菌の性状解析に基づく新規誤嚥性肺炎予防法の開発	藤島 慶	口腔保健科	1,300,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
Candida albicansのDMBT1への結合機序の解明に基づく高齢者QOL向上法の開発	瀬戸口 大介	口腔保健科	300,000	補 ○ 委 補	瀬戸口 大介(公益財団法人富徳会)
炎症性メディエーターの動態が食道知覚の変化とブラキシズムの発症に与える影響の解明	前田 綾	矯正歯科	1,430,000	補 ○ 委 補	日本学術振興会
消化管運動促進薬とH2ブロッカーによる咀嚼筋障害に対する治療効果の検討	大賀 泰彦	矯正歯科	0	補 ○ 委	日本学術振興会

胃内と口腔内の常在細菌叢、ブラキシズム及び胃食道逆流との関連性の解明	丸谷 佳菜子	矯正歯科	650,000	補○ 委補○	日本学術振興会
ストレスが食道の知覚過敏と覚醒時ブラキシズムに及ぼす影響の解明	福嶋 美佳	矯正歯科	1,950,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
抑制系とシナプス刈り込みを介した咀嚼筋痛障害の原因の解明	古川 みなみ	矯正歯科	1,300,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
長鎖非コードRNA「UCA1」の骨形成における機能解析	石川 崇典	矯正歯科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
小児の睡眠無呼吸時に変動する通気障害部位を検出可能にする気道流体解析モデルの構築	山崎 要一	小児歯科	910,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
遺伝子工学的的手法による乳歯歯髄細胞からの体性幹細胞単離とその特性解析	稲田 給美	小児歯科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
最適化医療を実現する小児の口呼吸鑑別診断システムの構築	村上 大輔	小児歯科	1,950,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
小型3Dカメラを応用した新規摂食嚥下機能検査システムの開発	佐藤 秀夫	小児歯科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
ダウン症児OSASの原因部位特定と上顎側方拡大・MFT併用療法の有効性の検討	橋口 真紀子	小児歯科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
上顎急速拡大は鼻腔通気障害を改善するか？	伴 祐輔	小児歯科	1,820,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
小児の上気道通気障害は摂食嚥下機能の発達に影響する？	山本 祐士	小児歯科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
上顎急速拡大による鼻腔通気障害の改善効果向上に関する流体力学的研究	柳澤 彩佳	小児歯科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
2020年度「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」実施業務(オンライン交流)	西谷 佳浩	保存科	213,510	委補○ 委補○	国立研究開発法人科学技術振興機構
ミュータスレンサ球菌表面タンパクの病原性解析に基づく齲蝕予防法の開発	勝俣 環	保存科	1,820,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
白金ナノコロイドを応用した1ステップアドヒーズの脱灰象牙質接着性の向上	勝俣 愛一郎	保存科	910,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
LIPUSを併用したBMP9と脱分化脂肪細胞による新規歯周・骨組織再生療法の開発	野口 和行	歯周病科	1,300,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
In situ組織工学アプローチによる真の歯周組織再生獲得に向けた治療基盤の確立	白方 良典	歯周病科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
BMP9を用いた歯周組織細胞の分化制御メカニズムの解明と新規歯周再生療法への展開	中村 利明	歯周病科	1,040,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
妊娠性糖尿病におけるインスリン抵抗性亢進への歯周病の関与に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	0	委補○ 委補○	日本学術振興会
BMP-9/MTAハイブリッド型直接覆髄剤を用いた新規象牙質再生療法の基盤確立	川上 克子	歯周病科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
歯周組織の老化におけるGDF6の機能解析	瀬名 浩太郎	歯周病科	780,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
妊娠性糖尿病に関わる口腔環境因子の検索とそのメカニズムの解明に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	2,990,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
脱分化脂肪細胞集塊(C-DFAT)を用いた新規骨再生療法の開発	篠原 敬哉	歯周病科	1,300,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
BMP9の歯周組織におけるSDF-1/CXCR4 axisを中心とした機能の解明	古江 きらら	歯周病科	910,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
BMP9による骨芽細胞分化誘導における小胞体ストレスの関与およびメカニズムの解明	榮樂 菜保子	歯周病科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
歯冠補綴装置の脱落を生じにくい支台築造用コンポジットレジンの開発	南 弘之	冠・ブリッジ科	1,300,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
顎骨間葉系幹細胞を用いた再生医療実現のための基盤研究	西村 正宏	義歯補綴科	6,240,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
摂食機能評価に基づいた栄養食事指導の有効性と体組成改善への影響の検討	西 恭宏	義歯補綴科	1,170,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
食味嗜好に対応する温度調節型保湿法の開発とその有効性に関する多軸的評価	村上 格	義歯補綴科	910,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
顎骨骨髓間質細胞を用いた顎骨再生医療のための骨形成能診断法の開発	末廣 史雄	義歯補綴科	1,300,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
MSCsを用いたオートファジー系を介する高度骨吸収治療法の開発研究	原田 佳枝	義歯補綴科	1,430,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
歯科受診患者の特性による口腔機能低下と身体的フレイルの関連	峰元 洋光	義歯補綴科	2,730,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
血中循環癌細胞のシングルセル解析による口腔癌次世代統合精密治療法の開発	杉浦 剛	口腔外科	5,070,000	委補○ 委補○	日本学術振興会
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	委補○ 委補○	薩摩川内市
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	委補○ 委補○	長島町

バクテリオファージを用いたARONJに対する新規治療法の創出	比地岡 浩志	口腔外科	1,560,000	補 ○ 委	日本学術振興会
口腔癌の血管浸潤を介した遠隔転移における幹細胞遺伝子の機能解析と治療への展開	久米 健一	口腔外科	650,000	補 ○ 委	日本学術振興会
口腔・大腸マイクロバイオーム解析による大腸がんリスク診断および予防概念の創生	後藤 雄一	口腔外科	390,000	補 ○ 委	日本学術振興会
唾液中の可溶性分子を用いたシェーグレン症候群の病因解析と新たな診断方法の開発	田中 昭彦	口腔外科	1,430,000	補 ○ 委	日本学術振興会
口腔癌個別化療法における骨髄由来免疫抑制細胞を標的としたバイオマーカーの開発	別府 真広	口腔外科	1,690,000	補 ○ 委	日本学術振興会
口腔癌シングルセル解析による転移原因遺伝子・遺伝子修飾の検索	松村 吉晃	口腔外科	1,300,000	補 ○ 委	日本学術振興会
フレイルやサルコペニアの改善因子としての口腔機能低下症に対する有用性の検討	中村 麻弥	口腔外科	1,430,000	補 ○ 委	日本学術振興会
リアルタイム音声可視化システムを応用した視覚フィードバック口蓋裂言語訓練法の開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	6,760,000	補 ○ 委	日本学術振興会
次世代型生体吸収性アパタイト表面被覆Mg合金の骨表面変化に関する研究	野添 悦郎	口腔顎顔面外科	1,300,000	補 ○ 委	日本学術振興会
顎骨骨髄炎発症要因における歯源性細胞と細胞極性調節因子相互作用の解析	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	1,560,000	補 ○ 委	日本学術振興会
口腔がん患者のフレイルの多角的評価と継続的な治療を実現する全人的医療の実践	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
片側性唇裂に対する術後3Dシミュレーション画像の開発	大河内 孝子	口腔顎顔面外科	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
血管新生誘導マイクロ粒子の応用とWntを標的とした薬剤関連顎骨壊死の新規治療戦略	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	3,380,000	補 ○ 委	日本学術振興会
音声可視化システムを用いた客観的評価に基づく口蓋裂術後の異常構音の病態説明	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
VEGF-Cによるリンパ管新生効果は、骨再生・修復促進に関与するか？	柚木 寿理	口腔顎顔面外科	780,000	補 ○ 委	日本学術振興会
運動による口腔癌発症・転移の制御のメカニズムとしてのmyokineの関与	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	1,950,000	補 ○ 委	日本学術振興会
(独法)HIV診療医師情報網支援事業	橋口 照人	検査部	198,000	補 ○ 委	独立行政法人国立病院機構九州医療センター(九州ブロックエイズ診療ネットワーク)
閉塞性動脈硬化症の診断治療の新パラダイム構築—エクソソームを用いた検査学的展開	山口 宗一	検査部	5,850,000	補 ○ 委	日本学術振興会
肺癌における免疫チェックポイント阻害療法効果予測因子の検索	田上 聖徳	検査部	0	補 ○ 委	日本学術振興会
血管内皮増殖因子が免疫抑制に関わる機構—腫瘍免疫と正常免疫との差異とは？	竹之内 和則	検査部	1,040,000	補 ○ 委	日本学術振興会
糖尿病を母体とする肝細胞癌発症機序の解明—VEGFを分子標的とした戦略	中島 一壽	検査部	910,000	補 ○ 委	日本学術振興会
NIRSによる心停止時の適切な胸骨圧迫を評価する生理学的モニタリング法の構築	垣花 泰之	救命救急センター(救急科)	1,300,000	補 ○ 委	日本学術振興会
敗血症関連脳症におけるメラトニンとテトラヒドロピオペリンのクロストーク解析	新山 修平	救命救急センター(救急科)	2,470,000	補 ○ 委	日本学術振興会
高齢者における心房細動の早期発見と心房性脳塞栓症予防に関する研究	入来 泰久	救命救急センター(救急科)	780,000	補 ○ 委	日本学術振興会
近赤外時間分解分光法を用いた非侵襲的リアルタイム脳酸素代謝モニタリング法の構築	江口 智洋	救命救急センター(救急科)	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
神経学的予後向上を目指したFIP再現モデル作成による予防的治療法開発	杉田 光士郎	救命救急センター(救急科)	1,430,000	補 ○ 委	日本学術振興会
血小板輸血の臨床判断を補助するための多角的止血機能評価法の構築	中 弁護	集中治療部	1,300,000	補 ○ 委	日本学術振興会
ECMO回路閉塞における炎症と凝固の包括的制御戦略	二木 貴弘	集中治療部	1,300,000	補 ○ 委	日本学術振興会
水素ガス吸入療法による薬剤性肝障害に対する新規治療法の開発とそのメカニズムの解明	政所 祐太郎	集中治療部	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
(他)HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	750,000	補 ○ 委	公益財団法人エイズ予防財団
川崎病急性期におけるHMGB-1の制御を目的とした分子標的治療の開発	上野 健太郎	周産母子センター	1,170,000	補 ○ 委	日本学術振興会
[GF-1&EPA]による腸管不全の肝障害・腸管順応Dual Therapyの開発	武藤 充	周産母子センター	2,080,000	補 ○ 委	日本学術振興会
(地公)【内田】不妊専門相談支援推進研究	内田 那津子	周産母子センター	631,015	補 ○ 委	鹿児島県
短腸症候群腸内フローラと消化管ホルモン動態の相関解明に基づくIFALD予防法開発	大西 峻	周産母子センター	1,560,000	補 ○ 委	日本学術振興会
周術期の摂食条件が体内時計に与える影響:遺伝子改変マウスを用いた時間生物学的解析	大野 幸	全身管理歯科治療部	780,000	補 ○ 委	日本学術振興会

高分子ナノセルに搭載した癌抑制マイクロRNAによる膀胱癌の新規核酸医薬の開発	山田 保俊	血液浄化療法部	1,300,000	補○	日本学術振興会
胆管系腫瘍の早期診断と治療効果予測システム確立	東 美智代	病理部(病理診断科)	1,300,000	委補○	日本学術振興会
WNT10A欠損マウスを用いた発毛および男性型脱毛症の機序の解明	田崎 貴嗣	病理部(病理診断科)	2,210,000	委補○	日本学術振興会
腫瘍発生を促進させる自己免疫状態での新規腫瘍免疫システムの解明	近藤 智之	病理部(歯科系)	2,340,000	委補○	日本学術振興会
マイクロダイアリス法を用いた神経因性膀胱の病態に関わる脳内機構の解明	吉田 輝	リハビリテーション部	780,000	委補○	日本学術振興会
脳損傷者のfNIRSを用いたドライビングシミュレーター運転時の脳血流について	有馬 美智子	リハビリテーション部	1,300,000	委補○	日本学術振興会
新たな歯科医師臨床研修制度における評価方法の構築に向けた基盤研究	田口 則宏	歯科総合診療部	2,392,000	委補○	厚生労働省
アウトカム基盤型教育における統合型コンピテンシー評価システムの開発	田口 則宏	歯科総合診療部	1,430,000	委補○	日本学術振興会
2型糖尿病における歯周病原性細菌に対するインクレチン関連薬の影響	作田 哲也	歯科総合診療部	1,040,000	委補○	日本学術振興会
地域基盤型医療に貢献する歯科医療人養成のための多職種連携教育プログラムの構築	吉田 礼子	歯科総合診療部	1,950,000	委補○	日本学術振興会
歯学部学士課程におけるプロフェッショナリズムの醸成過程と影響因子の解明	大戸 敬之	歯科総合診療部	910,000	委補○	日本学術振興会
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン	上野 真一	腫瘍センター	8,545,000	委補○	国立大学法人九州大学
生体内ゲノム編集を利用したHTLV-1を標的にする新規抗ウイルス療法	鈴木 紳介	腫瘍センター	1,170,000	委補○	日本学術振興会
(地公)てんかん地域診療連携体制整備事業に係る研修会等業務委託	花谷 亮典	てんかんセンター	57,000	委補○	鹿児島県
小児タオパチーに伴うてんかん原性病変におけるてんかん原性獲得機序の解明	花谷 亮典	てんかんセンター	1,820,000	委補○	日本学術振興会
独自開発の革新的な増殖制御型アデノウイルスの肉腫への承認申請を目指した医師主導治験	小戔 健一郎	探索的医療開発センター	90,090,000	委補○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
骨軟部腫瘍を制圧できる全身性免疫誘導の革新的な免疫遺伝子・ウイルス治療の開発	小戔健一郎	探索的医療開発センター	6,630,000	委補○	日本学術振興会
増殖型ウイルス/CAR-T融合による革新的な免疫遺伝子・細胞治療技術の創出	小戔健一郎	探索的医療開発センター	2,860,000	委補○	日本学術振興会
[シーズA201]抗細胞死・抗線維化・再生誘導の革新作用で難治性疾患治療のHB-EGF蛋白医薬品の実用化開発	小戔 健一郎	探索的医療開発センター	3,200,000	委補○	国立大学法人九州大学
地域包括ケアシステムにおける認知症患者の地域トータルケア量計算モデルの開発	岩穴口 孝	医療情報部	1,300,000	委補○	日本学術振興会
行動解析に基づく中心静脈カテーテル挿入手技の標準化に向けたトレーニングの開発	加治 建	総合臨床研修センター	1,430,000	委補○	日本学術振興会
短腸症の腸管順応獲得を可能にする消化管ホルモンのコンビネーション治療の開発	山田 和歌	総合臨床研修センター	1,300,000	委補○	日本学術振興会
小児腸管内バイオフィーム形成大腸菌が薬剤耐性遺伝子の水平伝播を促進する機構の解明	西 順一郎	感染制御部	1,430,000	委補○	日本学術振興会
地域サーベイランスシステムによる薬剤耐性菌伝播リスクの疫学的・細菌学的解析	川村 英樹	感染制御部	0	委補○	日本学術振興会
(地公)地域医療支援センター設置事業業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	18,962,668	委補○	鹿児島県
地域枠医学生離島・へき地医療実習棟業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	1,955,455	委補○	鹿児島県
へき地診療所に派遣される看護師に対する教育研修システム構築のための基礎的研究	楠元 裕佳	看護部	2,860,000	委補○	日本学術振興会
地域における看護実践力向上のための連携型シミュレーション教育	田中 久美子	看護部	910,000	委補○	日本学術振興会
CalDAG-GEF1の止血分子メカニズム解明と新規機能の探索	古城 剛	臨床技術部	1,560,000	委補○	日本学術振興会
GlycoGESTイメージングを用いた肝臓糖代謝定量イメージング法の確立	岩永 崇	臨床技術部	0	委補○	日本学術振興会
「血小板内シグナル伝達と巨核球分化」2つに機能するPBX2分子の新規機構の解明	小瀨 祐行	臨床技術部	1,820,000	委補○	日本学術振興会
心房細動アブレーション後の心房リバーシブルモデリング機序解明	波野 史典	臨床技術部	1,040,000	委補○	日本学術振興会
肺MAC症の慢性肉芽形成時のマクロファージ機能変化解明—microRNAの役割	郡山 豊泰	臨床技術部	1,560,000	委補○	日本学術振興会

小計33件

合計240件

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yoshiyuki Ikeda , Takeshi Sasaki , So Kuwahata ,et al.	心臓血管内科	Management instructions for elderly patients with hypertension	Clin Exp Hypertens. 2020 May 18;42(4):295-	Original Article
2	Kayoko Kubota , Sunao Miyayama , Noriko Iwatani ,et al.	心臓血管内科	Geriatric Nutritional Risk Index Is Associated With Prognosis in Patients With Pulmonary Arterial Hypertension and Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Circ Rep. 2020 Jun 12;2(7):372- 377.	Original Article
3	Yuichi Akasaki , Mitsuru Ohishi	心臓血管内科	Cerebrovascular and cardiovascular diseases caused by drugs of abuse	Hypertens Res. 2020 May;43(5):363-	Review
4	Hideaki Kanda , Munekazu Yamakuchi , Kazuhiisa Matsumoto ,et al.	心臓血管外科	Dynamic changes in platelets caused by shear stress in aortic valve stenosis	Clin Hemorheol Microcirc. 2021;77(1):71-81.	Original Article
5	Itsumi Imagama, Ko- ichi Kawahara, Hikari Ueno, et al.	心臓血管外科	Protective Effects of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin on Ischemia Reperfusion Injury of the Spinal Cord in Rabbits.	2021, March., Univ Kagoshima. J. M	Original Article
6	Kazuaki Tabu , Seiichi Mawatari , Kohei Oda ,et al.	臨床研究管理センター	Hypovascular tumors developed into hepatocellular carcinoma at a high rate despite the elimination of hepatitis C virus by direct-acting antivirals	PLoS One. 2020 Aug 13;15(8):e0237475	Original Article
7	Masato Minami , Emiko Mizuma , Mai Nakahara ,et al.	腎臓内科	A case of latent heterozygous Fabry disease in a female living kidney donor candidate	CEN Case Rep. 2021 Feb;10(1):30-34.	Case report
8	Akihito Tanaka , Shuji Kanmura , Toshio Sakiyama ,et al.	消化器内科	Huge gastric lesion disappears in a day	Dig Liver Dis. 2020 Aug 24;S1590-	Case report
9	Seiichi Mawatari , Kohei Oda , Kotaro Kumagai ,et al.	消化器内科	Viral and host factors are associated with retreatment failure in hepatitis C patients receiving all-oral direct	Hepatol Res. 2020 Apr;50(4):453- 465.	Original Article
10	Yuko Mataka , Hiroshi Kurahara , Tetsuya Idichi ,et al.	病院再開発推進室	Clinical Benefits of Conversion Surgery for Unresectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: A Single- Institution, Retrospective Analysis	Cancers (Basel). 2021 Mar 2;13(5):1057.	Original Article
11	Yuto Hozaka , Ken Sasaki , Takuro Nishikawa ,et al.	消化器外科	Successful treatment of post chemotherapy esophageal cicatricial atresia in a pediatric patient with anaplastic large cell lymphoma through minimally invasive esophagectomy: a case report	Surg Case Rep. 2021 Feb 5;7(1):41.	Case report
12	Yuto Hozaka , Yota Kawasaki , Satoshi Iino ,et al.	消化器外科	Locally advanced cholangiocellular carcinoma successfully treated with curative resection after downsizing chemotherapy: a case report	Surg Case Rep. 2021 Jan 26;7(1):34.	Case report
13	Yuto Hozaka , Yuko Mataka , Hiroshi Kurahara ,et al.	消化器外科	Usefulness of 18 F- fluorodeoxyglucose-positron emission tomography/computed tomography in primary cystadenocarcinoma of the mesentery: a case report	Surg Case Rep. 2020 Dec 4;6(1):306.	Case report
14	Ken Sasaki 1, Yusaku Osako 2, Masakazu Urata ,et al	消化器外科	Clinical Outcomes of Fully Covered Self-expanding Metallic Stent Placement for Palliation of Incurable Esophageal Cancer With or Without	Anticancer Res. 2021 Jan;41(1):385-389.	Original Article
15	Daisuke Matsushita , Takaaki Arigami , Keishi Okubo ,et al.	消化器外科	The Diagnostic and Prognostic Value of a Liquid Biopsy for Esophageal Cancer: A Systematic Review and	Cancers (Basel). 2020 Oct 21;12(10):3070.	Review
16	Yoshiaki Shinden , Ayako Nagata , Yuki Nomoto ,et al.	手術部	Surgical Resection With Pedicled Rotation Flap for Post-mastectomy Locoregional Breast Cancer Recurrence	Anticancer Res. 2020 Oct;40(10):5739- 5742.	Original Article
17	Yoshiaki Shinden , Ayako Nagata , Yuki Nomoto ,et al.	手術部	Surgical Resection With Pedicled Rotation Flap for Post-mastectomy Locoregional Breast Cancer Recurrence	Anticancer Res. 2020 Oct;40(10):5739- 5742.	Original Article

小計17件

18	Takako Tanaka , Reona Okada , Yuto Hozaka ,et al.	消化器外科	Molecular Pathogenesis of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: Impact of miR-30c-5p and miR-30c-2-3p Regulation on Oncogenic Genes	Cancers (Basel). 2020 Sep 23;12(10):2731.	Original Article
19	Hiroki Shimomura , Reona Okada , Takako Tanaka ,et al.	消化器外科	Role of miR-30a-3p Regulation of Oncogenic Targets in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Pathogenesis	Int J Mol Sci. 2020 Sep 4;21(18):6459.	Original Article
20	Akihiro Nakajo 1, Koji Minami , Yoshiaki Shinden ,et al.	消化器外科	The usefulness and utilization of a detachable steel wire-rimmed retractor (KN retractor) for endoscopic thyroid and parathyroid	Surg Today. 2021 Jan;51(1):159-164.	Original Article
21	Akihiro Nakajo , Koji Minami , Yoshiaki Shinden ,et al.	消化器外科	Upgraded bidirectional approach video-assisted neck surgery (BAVANS) using a rigid endoscope with variable viewing direction for advanced endoscopic lymph node	Surg Today. 2020 Jul;50(7):778-782.	Original Article
22	Ryu Matsumoto , Takaaki Arigami , Daisuke Matsushita ,et	消化器外科	Conversion surgery for stage IV gastric cancer with a complete pathological response to nivolumab: a	World J Surg Oncol. 2020 Jul 21;18(1):179.	Case report
23	Ken Sasaki , Masahiro Noda , Yusuke Tsuruda ,et al.	消化器外科	Primary monophasic synovial sarcoma of the cervical esophagus confirmed by detection of the SS18-SSX2 fusion transcripts: case report and literature review	Surg Case Rep. 2020 Jul 20;6(1):176.	Case report
24	Masumi Wada , Yusuke Goto , Takako Tanaka ,et al.	消化器外科	RNA sequencing-based microRNA expression signature in esophageal squamous cell carcinoma: oncogenic targets by antitumor miR-143-5p and miR-143-3p regulation	J Hum Genet. 2020 Nov;65(11):1019-1034.	Original Article
25	Yota Kawasaki , Satoshi Iino , Tetsuya Idichi , et al.	消化器外科	Anatomic Indications for Using Actuator-driven Pulsed Water Jet for Hepatectomy	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2020 Oct;30(5):e33-	Original Article
26	Yota Kawasaki , Satoshi Iino , Tetsuya Idichi , et al.	消化器外科	Characteristic radiological findings indicating the possible involvement of the hepatic hilar lymph nodes in patients with colorectal liver	Int J Surg Case Rep. 2020 May;72:10-16.	Case report
27	Yoshiaki Kita , Shinichiro Mori , Kan Tanabe ,et al.	消化器外科	Clinical prospects for laparoscopic stoma closure of a temporary loop ileostomy: Initial experience and	Asian J Endosc Surg. 2020 Oct;13(4):618-	Case report
28	Yusuke Sakiyama , Eiji Matsuura , Ayano Shigehisa ,et al.	脳神経内科	Cryptococcus Meningitis Can Co-occur with Anti-NMDA Receptor Encephalitis	Intern Med. 2020 Sep 15;59(18):2301-2306.	Original Article
29	Keiko Mizuno , Kengo Tanigawa , Nijiro Nohata ,et al.	呼吸器内科	FAM64A: A Novel Oncogenic Target of Lung Adenocarcinoma Regulated by Both Strands of miR-99a (miR-99a-5p and miR-99a-3p)	Cells. 2020 Sep 11;9(9):2083.	Original Article
30	Takahiro Matsuyama , Kentaro Machida , Yasutaka Motomura ,et al.	呼吸器内科	Long-acting muscarinic antagonist regulates group 2 innate lymphoid cell-dependent airway eosinophilic inflammation	Allergy. 2021 Mar 31.	Original Article
31	Shunsuke Misono , Keiko Mizuno , Takayuki Suetsugu ,et	呼吸器内科	Molecular Signature of Small Cell Lung Cancer after Treatment Failure: The MCM Complex as Therapeutic Target	Cancers (Basel). 2021 Mar 10;13(6):1187.	Original Article
32	Hiromasa Inoue , Ki Lee Milligan , Aine McConnon ,et al.	呼吸器内科	Uncontrolled asthma: a retrospective cohort study in Japanese patients newly prescribed with medium-/high-dose ICS/LABA	NPJ Prim Care Respir Med. 2021 Mar 2;31(1):12.	Original Article
33	Go Kamimura , Kazuhiro Ueda , Koki	手術部	An extremely rare case with right superior pulmonary vein translocation	Surg Case Rep. 2020 May	Case report
34	Masaya Aoki , Kazuhiro Ueda , Tadashi Umehara ,et al.	呼吸器外科	Targeted Therapy Followed by Cytotoxic Chemotherapy in Preoperative Patients With Locally Advanced Lung Adenocarcinoma	Anticancer Res. 2020 May;40(5):2911-2916.	Original Article
35	Toshiyuki Nagata , Kazuhiro Ueda , Souichi Suzuki ,et al.	呼吸器外科	Conventional Multi-Planar Reconstruction Imaging Is Insufficient to Determine the Indication for Segmentectomy	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Oct 21;26(5):256-262.	Original Article
36	Tadashi Umehara , Koji Takumi , Kazuhiro Ueda ,et al.	呼吸器外科	Four-dimensional flow magnetic resonance imaging study to explain high prevalence of pulmonary vein stump thrombus after left upper	J Thorac Dis. 2020 Oct;12(10):5542-5551.	Original Article
37	Tadashi Umehara , Koji Takumi , Kazuhiro Ueda ,et al.	呼吸器外科	Why does pulmonary vein thrombus predominantly develop after left upper lobectomy?	J Thorac Dis. 2021 Jan;13(1):420-421.	Original Article
38	Hirofumi Yoshino , Yasutoshi Yamada , Hideki Enokida ,et al.	泌尿器科	Targeting NPL4 via drug repositioning using disulfiram for the treatment of clear cell renal cell carcinoma	PLoS One. 2020 Jul 15;15(7):e0236119	Original Article

39	Hirofumi Yoshino , Hideki Enokida , Yoichi Osako ,et al.	泌尿器科	Characterization of PHGDH expression in bladder cancer: potential targeting therapy with gemcitabine/cisplatin and the contribution of promoter DNA	Mol Oncol. 2020 Sep;14(9):2190-2202.	Original Article
40	Yasutoshi Yamada , Hideki Enokida , Hiroki Harada ,et al.	泌尿器科	Successful Kidney Transplantation Alone With Severe Left Ventricular Systolic Dysfunction of Ejection Fraction 14%: A Case Report	Transplant Proc. Jul-Aug 2020;52(6):1919-1923.	Case report
41	Kazuki Kuroshima , Hirofumi Yoshino , Shunsuke Okamura , et al.	泌尿器科	Potential new therapy of Rapalink-1, a new generation mammalian target of rapamycin inhibitor, against sunitinib-resistant renal cell carcinoma	Cancer Sci . 2020 May;111(5):1607-1618.	Original Article
42	Makoto Yoshimitsu , Shigeo Fuji , Atae Utsunomiya ,et al.	血液膠原病内科	Outcomes of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for ATL with HTLV-1	Biol Blood Marrow Transplant. 2020 Apr;26(4):718-	Original Article
43	Kei Kasamo , Masayuki Nakamura , Yoko Daimou ,et al.	緩和ケアセンター	A PRIMPOL mutation and variants in multiple genes may contribute to phenotypes in a familial case with chronic progressive external ophthalmoplegia symptoms	Neurosci Res. 2020 Aug;157:58-63.	Original Article
44	Ryo Imakiire , Takuro Nishikawa , Hiroyuki Tominaga ,et al.	小児科	Bacillus Calmette-Guérin-Associated Cervical Spondylitis in a 3-Year-Old Immunocompetent Girl	Pediatr Infect Dis J. 2020 Dec;39(12):e466-e469.	Original Article
45	Shunsuke Nakagawa , Motohiro Kato , Toshihiko Imamura ,et al.	小児科	In-Hospital Management Might Reduce Induction Deaths in Pediatric Patients With Acute Lymphoblastic Leukemia: Results From a Japanese	J Pediatr Hematol Oncol. 2021 Mar 1;43(2):39-46.	Original Article
46	Yasuhiro Okamoto , Yozo Nakazawa , Masami Inoue ,et al.	小児科	Hematopoietic stem cell transplantation in children and adolescents with nonremission acute	Pediatr Blood Cancer. 2020 Dec;67(12):e28732	Original Article
47	Kentarō Ueno , Jumpei Kawamura , Yoshifumi Kawano	周産母子センター	Letter to the Editor (Author comments) "Determining risk factors of acute kidney injury after neonatal	Clin Exp Nephrol. 2020 Jul;24(7):648-649.	Original Article
48	Yuichi Yamasaki , Tomohiro Kubota , Syuji Takei ,et al.	小児科	A case of cryopyrin-associated periodic fever syndrome during canakinumab administration complicated by inflammatory bowel	Clin Rheumatol. 2021 Jan;40(1):393-397.	Original Article
49	Junpei Kawamura , Kentaro Ueno , Eri Taimura ,et al.	小児科	Case Report: 18 F-FDG PET-CT for Diagnosing Prosthetic Device-Related Infection in an Infant With CHD	Front Pediatr. 2021 Mar 8;9:584741.	Original Article
50	Masakazu Murakami, Shun Onishi , Yuki Ohya , Seichi	小児外科	Langerhans cell histiocytosis confined to extrahepatic bile duct causing sclerosing cholangitis in child: a case	Surg Case Rep. 2020 Jun 16;6(1):137.	Case report
51	Toshio Harumatsu , Taichiro Nagai , Keisuke Yano ,et al.	小児外科	Differential advantage of liver retraction methods in laparoscopic fundoplication for neurologically impaired patients: a comparison of	Pediatr Surg Int. 2020 May;36(5):591-596.	Original Article
52	Shun Onishi ,Toshio Harumatsu ,Keisuke Yano ,et al.	周産母子センター	Thoracoscopic Right Middle Lobe Lobectomy for Congenital Pulmonary Airway Malformation Using Small-Diameter Instruments: A Rare Affected Lesion and Procedure	Journal of Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques & Part B:Videoscopy,30(4), 2020 December 3	Case report
53	Mitsuru Muto ,Tatsuru Kaji ,Keisuke Yano ,et al.	周産母子センター	Thoracoscopic Total Thymectomy via the Left Thoracic Approach for a Pediatric Patient with Refractory Myasthenia Gravis	Journal of Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques & Part B:Videoscopy,30(6), 2020 August 3.	Case report
54	Mitsuru Muto , Koshiro Sugita , Satoshi Ibara ,et al.	小児外科	Discrepancy between the survival rate and neuropsychological development in postsurgical extremely low-birth-weight infants: a retrospective study over two decades at a single	Pediatr Surg Int. 2021 Mar;37(3):411-417.	Original Article
55	Mitsuru Muto , Tatsuru Kaji , Shun Onishi ,et al.	小児外科	An overview of the current management of short-bowel syndrome in pediatric patients	Surg Today. 2021 Jan 19.	Review
56	Makoto Matsukubo , Keisuke Yano , Tatsuru Kaji ,et al.	小児外科	The administration of hepatocyte growth factor prevents total parenteral nutrition-induced hepatocellular injury in a rat model	Pediatr Surg Int. 2021 Mar;37(3):353-361.	Original Article

57	Makoto Matsukubo , Tatsuru Kaji , Shun Onishi ,et al.	小兒外科	Differential gastric emptiness according to preoperative stomach position in neurological impaired patients who underwent laparoscopic fundoplication and gastrostomy	Surg Today. 2021 Mar 30.	Original Article
58	Kaji Tatsuru , Yano Keisuke , Onishi Shun ,et al.	小兒外科	The evaluation of eye gaze using an eye tracking system in simulation training of real-time ultrasound- guided venipuncture	J Vasc Access. 2021 Feb 12;1129729820987 362.	Original Article
59	Satoshi Jeiri , Shinichiro Ikoma , Toshio Harumatsu ,et al.	小兒外科	Trans-perineal transection through "Neo-Anus" for recto-bulbar urethral fistula using a 5-mm stapler in laparoscopically assisted anorectoplasty - A novel and secure	Asian J Endosc Surg. 2021 Mar 21.	Original Article
60	Mayu Matsui , eisuke Yano ,Tatsuru Kaji ,et al.	小兒外科	Laparoscopic Super-Low Anterior Resection for Congenital Rectal Stenosis Using Swenson's Technique	Journal of Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques & Part B:Videoscopy,31(1) . 2021 February.	Case report
61	Masakazu Murakami , Tatsuru Kaji , Ayaka Nagano ,et al.	小兒外科	Complete laparoscopic choledochal cyst excision and hepaticojejunostomy with laparoscopic Roux-Y reconstruction using a 5-mm stapler: A case of a 2-month-old infant	Asian J Endosc Surg. 2021 Feb 15.	Case report
62	Toshio Harumatsu , Tatsuru Kaji , Ayaka Nagano ,et al.	小兒外科	Successful thoracoscopic treatment for tracheoesophageal fistula and esophageal atresia of communicating bronchopulmonary foregut malformation group IB with dextrocardia: a case report of	Surg Case Rep. 2021 Jan 6;7(1):11.	Case report
63	Masaki Kamio , Shintaro Yanazume , Shinichi Togami ,et al.	産科婦人科	Association Between Positive Human Papillomavirus Status After Conization and Disease Recurrence in Patients with Cervical Intraepithelial Neoplasia	J Obstet Gynaecol India. 2021 Feb;71(1):66-71.	Original Article
64	Shinichi Togami , Toshihiko Kawamura , Shintaro Yanazume ,et al.	産科婦人科	Comparison of survival outcomes between laparoscopic and open surgery in patients with low-risk endometrial cancer	Jpn J Clin Oncol. 2020 Oct 22;50(11):1261- 1264.	Original Article
65	Shintaro Yanazume , Shinichi Togami , Masaki Kamio ,et al.	産科婦人科	Bulky cervical tumour showing mixed unique cell clusters in cervical cytology	Cytopathology. 2020 Jul;31(4):345-347.	Original Article
66	Shinichi Togami , Rintaro Kubo , Toshihiko Kawamura ,et al.	産科婦人科	Comparison of lymphatic complications between sentinel node navigation surgery and pelvic lymphadenectomy in patients with cervical cancer	Jpn J Clin Oncol. 2020 May 5;50(5):543-547.	Original Article
67	Shinichi Togami , Toshihiko Kawamura , Shintaro Yanazume ,et al.	産科婦人科	Comparison of lymphoscintigraphy and single-photon emission computed tomography with computed tomography (SPECT/CT) for sentinel lymph node detection in endometrial	Int J Gynecol Cancer. 2020 May;30(5):626- 630.	Original Article
68	Shinichi Togami , Rintaro Kubo , Toshihiko Kawamura ,et al.	産科婦人科	risk factors for lymphatic complications following lymphadenectomy in patients with endometrial cancer	Taiwan J Obstet Gynecol . 2020 May;59(3):420-	Original Article
69	Yuhei Yahiro , Shingo Maeda , Masato Morikawa ,et al.	整形外科	BMP-induced Atoh8 attenuates osteoclastogenesis by suppressing Runx2 transcriptional activity and reducing the Rankl/Opg expression	Bone Res. 2020 Sep 2;8:32.	Original Article
70	Hiroyuki Tominaga , Ichiro Kawamura , Kosei Ijiri ,et al.	整形外科	Surgical results of the resection of spinal meningioma with the inner layer of dura more than 10 years after	Sci Rep. 2021 Feb 18;11(1):4050.	Original Article
71	Takuro Kanekura , Koichi Kawahara	皮膚科	Adsorptive granulocyte and monocyte apheresis: A potentially relevant therapeutic option for COVID-19	Int J Infect Dis. 2020 Oct;99:1-2.	Letter
72	Youhei Uchida , Jennifer Gherardini , Andreas Schulte- Mecklenbeck ,et al.	皮膚科	Pro-inflammatory V δ 1 + T-cells infiltrates are present in and around the hair bulbs of non-lesional and lesional alopecia areata hair follicles	J Dermatol Sci. 2020 Nov;100(2):129- 138.	Original Article
73	Taiji Sakamoto	眼科	Author Response: Factors in Color Fundus Photographs That Can Be Used by Humans to Determine Sex of	Transl Vis Sci Technol. 2020 Jun 5;9(7):11.	Letter
74	Hideki Shihara , Shozo Sonoda , Hiroto Terasaki ,et al.	眼科	Quantitative analyses of diameter and running pattern of choroidal vessels in central serous chorioretinopathy by en face images	Sci Rep. 2020 Jun 12;10(1):9591.	Original Article

75	Hiroto Terasaki , Shozo Sonoda, Hideki Shiihara ,et al.	眼科	MORE EFFECTIVE SCREENING FOR EPIRETINAL MEMBRANES WITH MULTICOLOR SCANNING LASER OPHTHALMOSCOPE THAN WITH COLOR FUNDUS	Retina. 2020 Jul;40(7):1412-1418.	Original Article
76	Hiroto Terasaki , Shozo Sonoda , Masatoshi Tomita ,et al.	眼科	Recent Advances and Clinical Application of Color Scanning Laser Ophthalmoscope	J Clin Med. 2021 Feb 11;10(4):718.	Review
77	Takehiro Yamashita , Hiroto Terasaki , Ryo Asaoka ,et al.	眼科	Macular irregularities of optical coherence tomographic vertical cross sectional images in school age children	Sci Rep. 2021 Mar 5;11(1):5284.	Original Article
78	Takehiro Yamashita , Hiroto Terasaki , Minoru Tanaka ,et al.	眼科	Relationship between peripapillary choroidal thickness and degree of tessellation in young healthy eyes	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2020 Aug;258(8):1779-1785.	Original Article
79	Hideki Shiihara , Hiroto Terasaki , Shozo Sonoda ,et al.	眼科	Association of foveal avascular zone with the metamorphopsia in epiretinal membrane	Sci Rep. 2020 Oct 13;10(1):17092.	Original Article
80	Junichiro Ohori , Keiichi Miyashita , Mizue Harada ,et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Unilateral arytenoid swelling in acute epiglottitis suggests the presence of peritonsillar abscess	Auris Nasus Larynx. 2020 Dec;47(6):1023-1026.	Original Article
81	Junichiro Ohori , Hiroyuki Iuchi , Hiromi Nagano ,et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The usefulness of abscess tonsillectomy followed by intraoral drainage for parapharyngeal abscess concomitant with peritonsillar abscess	Auris Nasus Larynx. 2020 Aug;47(4):697-701.	Case report
82	Hiroyuki Iuchi , Takayuki Kyutoku , Kotoko Ito ,et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Impacts of Inflammation-Based Prognostic Scores on Survival in Patients With Hypopharyngeal Squamous Cell Carcinoma	OTO Open . 2020 Dec 9;4(4):2473974X20978137.	Original Article
83	Hiroyuki Iuchi , Junichiro Ohori , Takayuki Kyutoku ,et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Inhibitory effects of 2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine polymer on the adherence of bacteria causing upper	J Oral Microbiol. 2020 Aug 20;12(1):1808425.	Original Article
84	Hiromi Nagano , Yoshinobu Fujiwara , Hirohisa Matsuzaki ,et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Three cases of non-occlusive mesenteric ischemia that developed after head and neck cancer therapy	Auris Nasus Larynx. 2020 Jul 25;S0385-	Case report
85	Kiyohisa Kamimura , Masanori Nakajo , Tomohide Yoneyama ,et al.	放射線科	Assessment of microvessel perfusion of pituitary adenomas: a feasibility study using turbo spin-echo-based intravoxel incoherent motion imaging	Eur Radiol. 2020 Apr;30(4):1908-1917.	Original Article
86	Kiyohisa Kamimura , Masanori Nakajo , Tomohide Yoneyama ,et al.	放射線科	Quantitative pharmacokinetic analysis of high-temporal-resolution dynamic contrast-enhanced MRI to differentiate the normal-appearing pituitary gland from pituitary	Jpn J Radiol. 2020 Jul;38(7):649-657.	Original Article
87	Koji Takumi , Pedro V Staziaki , Rania Hito ,et al.	放射線科	Amyloidosis in the head and neck: CT findings with clinicopathological correlation	Eur J Radiol. 2020 Jul;128:109034.	Original Article
88	Koji Takumi , Hiroaki Nagano , Ryota Nakanosono ,et al.	放射線科	Combined signal averaging and compressed sensing: impact on quality of contrast-enhanced fat-suppressed 3D turbo field-echo imaging for pharyngolaryngeal squamous cell	Neuroradiology. 2020 Oct;62(10):1293-1299.	Original Article
89	Koji Takumi , Hiroaki Nagano , Hidehiko Kikuno ,et al.	放射線科	Differentiating malignant from benign salivary gland lesions: a multiparametric non-contrast MR	Sci Rep. 2021 Feb 2;11(1):2780.	Original Article
90	Koji Takumi , Hiroaki Nagano , Tomohiro Harasawa ,et al.	放射線科	Pulmonary hamartoma: Feasibility of dual-energy CT detection of intranodular fat	Radiol Case Rep. 2021 Feb 24;16(5):1032-1036.	Case report
91	Masatoyo Nakajo , Megumi Jinguji , Atsushi Tani ,et al.	放射線科	[18 F]-FDG-PET/CT and [18 F]-FAZA-PET/CT Hypoxia Imaging of Metastatic Thyroid Cancer: Association with Short-Term Progression After Radioiodine Therapy	Mol Imaging Biol. 2020 Dec;22(6):1609-1620.	Original Article
92	Masatoyo Nakajo , Megumi Jinguji , Atsushi Tani ,et al.	放射線科	Application of adrenal maximum standardized uptake value to 131 I-6 β -iodomethyl-19-norcholesterol SPECT/CT for characterizing unilateral hyperfunctioning	Eur J Radiol. 2020 Dec;133:109397.	Original Article
93	Masatoyo Nakajo , Megumi Jinguji , Atsushi Tani ,et al.	放射線科	Correction to: [18F]-FDG-PET/CT and [18F]-FAZA-PET/CT Hypoxia Imaging of Metastatic Thyroid Cancer: Association with Short-Term Progression after Radioiodine Therapy	Mol Imaging Biol. 2020 Dec;22(6):1621.	Original Article

94	Masatoyo Nakajo , Satoko Ojima , Hirofumi Kawakami ,et al.	放射線科	Value of Patlak Ki images from 18 F-FDG-PET/CT for evaluation of the relationships between disease activity and clinical events in cardiac	Sci Rep. 2021 Feb 1;11(1):2729.	Original Article
95	Yoshihiko Fukukura , Yuichi Kumagae , Ryutaro Higashi ,et al.	放射線科	Visual enhancement pattern during the delayed phase of enhanced CT as an independent prognostic factor in stage IV pancreatic ductal adenocarcinoma	Pancreatology. 2020 Sep;20(6):1155-1163.	Original Article
96	Natsue Kiyonaga , Takahiro Moriyama , Yuichi Kanmura	麻酔科	Effects of dexmedetomidine on lipopolysaccharide-induced acute kidney injury in rats and mitochondrial function in cell culture	Biomed Pharmacother. 2020 May;125:109912.	Original Article
97	Kohei Godai , Takahiro Moriyama , Yuichi Kanmura	麻酔科	Comparison of the MultiViewScope Stylet Scope and the direct laryngoscope with the Miller blade for the intubation in normal and difficult pediatric airways: A randomized.	PLoS One. 2020 Aug 13;15(8):e0237593	Original Article
98	Kaoru Yamashita , Toshiro Kibe , Atsushi Kohjitan ,et al.	歯科麻酔	General Anesthesia During Lip Repair and Palatoplasty After Glenn Surgery	Anesth Prog. 2020 Jun 1;67(2):107-108.	Others
99	Kaoru Yamashita , Toshiro Kibe , Kanae Aoyama ,et al.	歯科麻酔	The State Anxiety Inventory Is Useful for Predicting the Autonomic Nervous System State of Patients Before the Extraction of an Impacted Mandibular	J Oral Maxillofac Surg. 2020 Apr;78(4):538-544.	Original Article
100	Yumeko Amano , Tomokazu Noma , Seiji Etoh ,et al.	リハビリテーション科	Reaching exercise for chronic paretic upper extremity after stroke using a novel rehabilitation robot with arm-weight support and concomitant electrical stimulation and vibration: before-and-after feasibility trial	Biomed Eng Online. 2020 May 6;19(1):28.	Original Article
101	Yuki Hokita , Kazuyo Mori , Taihei Yamaguchi ,et al.	歯科衛生部門	Oral Lesion like Mucous Membrane Pemphigoid under Carboplatin-induced Hemolytic Anemia and Pancytopenia as Hypersensitive Reactions in a case with Maxillary	Int J Case Rep. 2020 June; 4: 142-146	Case report
102	Aya Maeda-Iino , Mika Fukushima , Yoko Sakoguchi ,et al.	矯正歯科	Effects of intra-oesophageal acid infusion and a stress task on masseter muscle activity and autonomic nervous activity in wakefulness	J Oral Rehabil. 2020 May;47(5):567-576.	Original Article
103	Sayuri Taira , Yasuhiko Oga , Takakazu Yagi ,et al.	矯正歯科	Treatment of complete transposition of upper right canine and first premolar and scissors-bite on second molars by non-extraction and retention of the transposed positions	Orthodontic Waves. 2020 Nov;79(4): 179-187.	Case report
104	Miki Kawada-Matsuo , Atsuko Watanabe , Kaoru Arai ,et al.	矯正歯科	Staphylococcus aureus Virulence Affected by an Alternative Nisin A Resistance Mechanism	Appl Environ Microbiol. 2020 Apr	Original Article
105	Tomonori Iwasaki , Takeshi Sugiyama , Ayaka Yanagisawa- Minami ,et al.	小児歯科	Effect of adenoids and tonsil tissue on pediatric obstructive sleep apnea-severity determined by computational fluid dynamics	J Clin Sleep Med. 2020 Dec 15;16(12):2021-2028.	Original Article
106	Yuko Takashi , Kazuo Tomita , Yoshikazu Kuwahara ,et al.	保存科	Mitochondrial dysfunction promotes aquaporin expression that controls hydrogen peroxide permeability and ferroptosis	Free Radic Biol Med. 2020 Dec;161:60-70.	Original Article
107	Ayumi Fujita , Yuichi Oogai , Miki Kawada-Matsuo ,et al.	歯周病科	Expression of virulence factors under different environmental conditions in Aggregatibacter	Microbiol Immunol. 2021 Mar;65(3):101-	Original Article
108	Mamoru Murakami , Kae Harada , Yasuhiro Nishi ,et al.	義歯補綴科	Effects of Storage Temperature and pH on the Antifungal Effects of Commercial Oral Moisturizers against Candida Albicans and Candida	Medicina (Kaunas). 2020 Oct 7;56(10):525.	Original Article
109	Takahiro Yanagisawa , Masakazu Ishii , Manami Takahashi ,et al.	義歯補綴科	Human cathelicidin antimicrobial peptide LL-37 promotes lymphangiogenesis in lymphatic endothelial cells through the ERK and	Mol Biol Rep. 2020 Sep;47(9):6841-6854.	Original Article
110	Yasuhiro Nishi , Taro Nomura , Mamoru Murakami ,et al.	義歯補綴科	Effect of denture adhesives on oral moisture: A multicenter randomized controlled trial	J Prosthodont Res. 2020 Jul;64(3):281-288.	Original Article
111	Kenichi Kume , Hiroshi Hijioka , Takayuki Ishida ,et al.	口腔外科	A case of successful oral commissure and vermilion reconstruction following extensive full-thickness cheek resection of advanced buccal carcinoma	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Volume 32, Issue 4, July 2020, Pages 261-266	Case report

112	Takako Okawachi , Kiyohide Ishihata , Namiko Nomoto ,et al.	口腔顎顔面外科	Using three-dimensional nasal forms to compare definitive unilateral cleft lip nose correction with/without a cross-lap joint cartilage graft	J Craniomaxillofac Surg. 2020 Nov;48(11):1035-1044.	Original Article
113	Takuya Yoshimura , Hajime Suzuki , Hirotaka Takayama ,et al.	口腔顎顔面外科	Impact of Preoperative Low Prognostic Nutritional Index and High Intramuscular Adipose Tissue Content on Outcomes of Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma	Cancers (Basel). 2020 Oct 28;12(11):3167.	Original Article
114	Chang-Hwan Seong , Norika Chiba , Joji Kusuyama ,et al.	口腔顎顔面外科	Bone morphogenetic protein 9 (BMP9) directly induces Notch effector molecule Hes1 through the SMAD signaling pathway in osteoblasts	FEBS Lett. 2021 Feb;595(3):389-403.	Original Article
115	Masahiro Tezuka , Narihiro Hirahara , Yuhei Kamikuri ,et al.	口腔顎顔面外科	Alternative successful functional recovery of total full-thickness velar defect following recurrent oropharyngeal carcinoma resection: A case report	August 2020,Journal of Oral and Maxillofacial Surgery Medicine	Case report
116	Yasuyuki Kakihana , Osamu Nishida , Takumi Taniguchi ,et al.	救命救急センター	Efficacy and safety of landiolol, an ultra-short-acting β 1-selective antagonist, for treatment of sepsis-related tachyarrhythmia (J-Land 3S): a multicentre, open-label, randomised controlled trial	Lancet Respir Med. 2020 Sep;8(9):863-872.	Original Article
117	Bengo Atari , Takashi Ito , Tomoka Nagasato ,et al.	集中治療部	A modified microchip-based flow chamber system for evaluating thrombogenicity in patients with	Thromb J. 2020 Oct 30;18(1):31.	Original Article
118	Yuki Kojima , Kanae Aoyama , Kazuaki Yamagata ,et al.	全身管理治療部	A modified barrier enclosure to prevent viral aerosol transmission during endotracheal intubation and extubation of patients with	J Clin Anesth. 2020 Oct;65:109876.	Letter
119	Yuki Kojima , Kazuya Hirabayashi , Tatsuihiro Oka	全身管理治療部	Intraoperative Circuit Leak Likely Caused by Surgical Prep	Anesthesiology. 2020 Aug;133(2):426.	Others
120	Yuki Kojima , Kiichi Furuse , Takeshi Murouchi ,et al.	全身管理治療部	Ultrasound-Guided Local Anesthetic Nerve Blocks in a Forehead Flap Reconstructive Maxillofacial Procedure	Anesth Prog. 2020 Sep 1;67(3):164-169.	Case report
121	Yuki Kojima , Ryoza Sendo , Sachi Ohno ,et al.	全身管理治療部	Ultrasound-guided inferior alveolar nerve block for trismus during dental treatment: a case report	JA Clin Rep. 2020 Dec 2;6(1):94.	Case report
122	Yuki Kojima , Takeshi Murouchi , Mitsutaka Sugimura ,et al.	全身管理治療部	An uncomplicated and safe technique for preventing endotracheal tube cuff damage during tracheostomy using pressure-controlled ventilation: the	Can J Anaesth. 2020 Dec;67(12):1879-1880.	Letter
123	Minako Uchino, Kaoru Yamashita, Toshiro Kibe ,et al.	全身管理治療部	Effects of intravenous sedation on autonomic nerve activity and the psychological state during tooth extraction: A prospective non-randomized controlled trial	First published: 17 December 2020	Original Article
124	Toshiaki Akahane , Naoki Kanomata , Oi Harada ,et al.	病理診断科	Targeted next-generation sequencing assays using triplet samples of normal breast tissue, primary breast cancer, and recurrent/metastatic lesions	BMC Cancer. 2020 Oct 1;20(1):944.	Original Article
125	Toshiaki Akahane , Ikumi Kitazono , Shintaro Yanazume ,et al.	病理診断科	Next-generation sequencing analysis of endometrial screening liquid-based cytology specimens: a comparative study to tissue specimens	BMC Med Genomics. 2020 Jul 11;13(1):101.	Original Article
126	Ikumi Kitazono , Taiji Hamada , Takuya Yoshimura ,et al.	病理診断科	PCP4/PEP19 downregulates neurite outgrowth via transcriptional regulation of Ascl1 and NeuroD1 expression in human neuroblastoma	Lab Invest. 2020 Dec;100(12):1551-1563.	Original Article
127	Hirotsugu Noguchi , Ikumi Kitazono , Kazumasa Hamada ,et al.	病理診断科	Verruciform Xanthoma of the Esophagus: Two Case Reports With Review of the Literature	Int J Surg Pathol. 2020 May;28(3):302-	Case report
128	Hirotsugu Noguchi , Sohsuke Yamada , Ken-Ichi Hirano ,et al.	病理診断科	Outside-in signaling by femoral cuff injury induces a distinct vascular lesion in adipose triglyceride lipase	Histol Histopathol. 2021 Jan;36(1):91-100.	Original Article
129	Hirotsugu Noguchia , Natsumi Noguchia , Tetsuya Idichi ,et al.	病理診断科	Case report of a lymphoepithelioma-like hepatocellular carcinoma with prominent lymphoplasmacytic infiltration	Human Pathology: Case Reports. Volume 21, September 2020, 200402	Case report

小計18件
合計129件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.と

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	井戸章雄	消化器内科	B型肝炎の再活性化:現状と撲滅にむけた対策	肝臓 2020 61(5):221	Review
2	熊谷公太郎、馬渡誠一、井戸章雄	消化器内科	Pathophysiology of acute liver failure from onset to liver regeneration	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi 2020 117(9):750-	Review
3	中条哲浩、南幸次、平島忠寛、他	消化器内科	甲状腺に対する内視鏡下手術及びロボット支援手術～現状と今後の展望～「内視鏡手術(吊り上げ法)」	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 37(1): 12-16	Review
4	小田原晃、有上貴明、柳田茂寛、他	消化器外科	腹腔鏡下胃空腸バイパス術を行った腐食性胃炎後幽門前庭部狭窄の1例	日本臨床外科学会雑誌 81(10), 2022-2027, 2020	Case report
5	佐竹霜一、有上貴明、松下大輔、他	消化器外科	集学的治療により脳転移切除後5年生存中の胃癌術後脳転移の1例	日本臨床外科学会雑誌 81(11): 2232-2237, 2020	Case report
6	橋口昭大、吉村明子、安藤匡宏、他	脳神経内科	GARS変異による遺伝性末梢神経障害7例の臨床的特徴	末梢神経31(1):98-104;2020	Original Article
7	水野圭子、八木朋子、福田宏正、他	呼吸器内科	肺実質への進展が確認された気管支内腔型肺過剰腫の1例	気管支学 42(6) 524-528	Case report
8	上村豪、上田和弘、梅原正、他	手術部	EWSによる気管支充填術が難治性食道気道瘻の閉鎖に有効であった1例	気管支学 2020/05; 42(3):	Case report
9	上村豪、上田和弘、丸山広生、他	手術部	肺門リンパ節腫大で発症した小細胞肺癌の1例	肺癌 2021/02/20;	Case report
10	上村豪、上田和弘、梅原正、他	手術部	EWSによる気管支充填術が難治性食道気道瘻の閉鎖に有効であった1例	気管支学 2020/05; 42(3):	Case report
11	鎌野秀一、榎田英樹、中川昌之	泌尿器科	両側副腎腫瘍症例の治療に関する検討 副腎部分切除術の適応について	西日本泌尿器科(0029-0726)82巻3号 Page357-363	Original Article
12	吉野裕史、山田保俊、有馬純矢、他	泌尿器科	腎移植後リンパ嚢腫に対する開窓術術後に内ヘルニアを認めた1例	日本臨床腎移植学会雑誌(2187-9907)8巻2号 Page286-289	Case report
13	稲葉泰洋、濱田陸、原田涼子、他	小児科	膵臓超音波検査を契機に診断に至ったHNF1B異常症の1例	日本小児腎臓病学会雑誌 2020 Nov 33(2):197-202	Original Article
14	川村順平、榎木大祐、上野健太郎	小児科	遠位部胸部大動脈に局限したMid-aortic syndromeの1例	日本超音波学会雑誌 2020;47(1):29-30	Original Article
15	家入里志、杉田光士郎、矢野圭輔、他	小児外科	胎児・新生児・小児用デバイス開発の動向	日本コンピュータ外科学会誌 22(3): 180-183	Original Article
16	家入里志、中目和彦、長野綾香、他	小児外科	術後機能を考慮した小児呼吸器外科手術 先天性嚢胞性肺疾患を中心に	日本小児呼吸器学会雑誌 31(2): 152-158, 2021	Original Article
17	矢野圭輔、杉田光士郎、家入里志	小児外科	IFALDの病態解明に基づくGLP-2を用いた新規治療法の開発	Medical Science Digest 46(7): 437-440, 2020	Original Article
18	加治建、大西峻、矢野圭輔、他	総合臨床研修センター	【腸管リハビリテーションUpdate】腸管関連肝障害 脂肪乳剤	外科と代謝・栄養 54(6): 241-244, 2020	Review
19	武藤充、加治建、矢野圭輔、他	周産母子センター	【腸管リハビリテーションUpdate】腸管順応促進ホルモンペプチド成長因子を用いた短腸症候群の治療について	外科と代謝・栄養 54(6): 229-233, 2020	Review
20	松久保真、春松敏夫、武藤充、他	小児外科	術前診断が可能であったが腸管切除を要した小腸間膜裂孔ヘルニアの1例	日本小児外科学会雑誌 57(4):735-741, 2021	Case report
21	築詰伸太郎、小林裕明	産科、婦人科	保険診療となった遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減手術 RRSOを中心に(総説)	鹿児島産科婦人科学会雑誌(2433-9350) 29巻 9-15 2021.03	Others
22	築詰伸太郎、牛若昂志、松本純、他	産科、婦人科	婦人科がんにおけるゲノムパネル検査の有用性に関する臨床的検討(会議録)	日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)39巻1号 312 2021.01	Others
23	小林裕明	産科、婦人科	特集 婦人科腫瘍における低侵襲手術について 始まった婦人科ロボット手術プロクター制度	日本産科婦人科学会雑誌 72(6) 659-665 2020.06	Original Article
24	小林裕明	産科、婦人科	【婦人科腫瘍における低侵襲手術について】始まった婦人科ロボット手術プロクター制度(解説/特集)	日本産科婦人科学会雑誌(0300-9165)72巻増6号 659-665	Others

25	尾辻葵、太崎友紀子、 新原有一朗、他	麻酔科	帝王切開術2カ月後に筋層内変性筋腫が子宮内腔へ穿破した一例(会議録/症例報告)	日本産科婦人科学会雑誌(0300-9165)72巻臨増S-616 2020.08	Others
26	神尾真樹、牛若昂志、 福田美香、他	産科、婦人科	ロボット手術の安全な普及に向けて我々の行っているロボット手術と安全に関する取り組み(会議録)	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌(1884-9938)36巻WS4-2 (2020.11)	Others
27	神尾真樹、牛若昂志、 永野大河、他	産科、婦人科	卵巣腫瘍における腫瘍マーカーHE4の有用性(原著論文)	鹿児島産科婦人科学会雑誌2433-9350)29巻 21-27 2021.03	Original Article
28	神尾真樹、牛若昂志、 松本純、他	産科、婦人科	ダヴィンチXiシステムを用いた子宮体がんデュアルドッキング手術(会議録)	日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)39巻1号 367 2021.01	Others
29	戸上真一、牛若昂志、 松本純、他	産科、婦人科	子宮頸部線肉腫の診断および治療自験例7例の検討と文献的考察(会議録)	日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)39巻1号 317 2021.01	Others
30	戸上真一、黒田高史、 牛若昂志、他	産科、婦人科	子宮体癌に対する腹腔鏡手術(術式選択やセンチネルリンパ節生検を含む)子宮体がんに対する鏡視下センチネルパネノードナビゲーション手術	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌(1884-9938)36巻SY6-4 2020.11	Others
31	崎濱ミカ、唐木田智子、 内田那津子、他	周産母子センター	Turner症候群(TS)患者におけるKaufmann療法(KT)への移行時期についての検討(会議録)	日本女性医学雑誌(2185-8861)28巻1号 118	Others
32	牛若昂志、築詰伸太郎、 萬浮帆波、他	産科、婦人科	がん遺伝子検査を行った子宮体部・卵巣の同時性重複癌の2症例(会議録/症例報告)	日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)39巻1号 388 2021.01	Case report
33	内田那津子、酒瀬川琢、 樋渡小百合、他	周産母子センター	下垂体性性腺機能低下における排卵誘発法の個別化について	日本生殖医学会雑誌(1881-0098)65巻1-2号 85 2020.04	Original Article
34	酒瀬川琢、沖利通、沖知恵、 他	産科、婦人科	人工授精において妊娠を左右する精液所見について	日本生殖医学会雑誌(1881-0098)65巻1-2号 85 2020.04	Original Article
35	古謝将鷹、築詰伸太郎、 松本純、他	産科、婦人科	TC療法により致死的なアレルギー様症状を起こした一例(原著論文)	日本産科婦人科学会雑誌(2433-9350)29巻 71-73 2021.03	Case report
36	古園希、戸上真一、 福田美香、他	産科、婦人科	子宮漿膜下筋腫内に発生した明細胞癌の1例(原著論文)	鹿児島産科婦人科学会雑誌 29巻 71-73 2021.03	Case report
37	萬浮帆波、太崎友紀子、 新原有一朗、他	産科、婦人科	妊娠中に発症したS状結腸軸捻転症の1例(原著論文)	鹿児島産科婦人科学会雑誌 29巻 61-66 2021.03	Case report
38	福田美香、牛若昂志、 松本純、他	産科、婦人科	当科におけるオラパリア再発卵巣癌症例の臨床的検討(会議録)	日本婦人科腫瘍学会雑誌(1347-8559)39巻1号 388 2021.01	Others
39	河村一郎、富永博之、 八尋雄平、他	整形外科・リウマチ外科	上位胸椎癒合椎を合併した胸腰椎変性側弯の1例	整形外科と災害外科 2021 3月	Case report
40	廣津匡隆、中村俊介、 梶博則、谷口昇	整形外科・リウマチ外科	経験と考察 前十字靭帯損傷に伴う膝内側コンパートメントの骨挫傷と内側半月板損傷の関連性	整形外科 2020年4月;71巻4号:324 ページ	Original Article
41	廣津匡隆、海江田英泰、 中村俊介、他	整形外科・リウマチ外科	サッカー中の軽微な外傷で発症した4歳女児のCartilaginous tibial eminence fracture(CTEF)の治療経験	九州・山形スポーツ医・科学研究会誌 2020年7月;32巻:23ページ	Case report
42	廣津匡隆、中村俊介、 海江田英泰、他	整形外科・リウマチ外科	外側円板状半月板の辺縁部断裂に対して形成切除術に縫合術を加え安定性を獲得した2例	日本臨床整形外科学会雑誌 2020年5月;45巻1号:19ページ	Case report
43	廣津匡隆、中村俊介、 谷口昇	整形外科・リウマチ外科	問題点の検討 女子バスケットボール選手における慢性足関節不安定症と動的姿勢制御の関連	整形外科 2021年2月;72巻2号:141 ページ	Original Article
44	金蔵拓郎	皮膚科	【最近のトピックス2020 Clinical Dermatology 2020】皮膚疾患治療のポイント 乾癬性関節炎の治療 顆粒球単球吸着除去療法(解説/特集)	臨床皮膚科(0021-4973)74巻5号 Page129-132(2020.04)	Others

計20件

45	金蔵拓郎	皮膚科	膿疱性乾癬の治療	乾癬・掌蹠膿疱症病態の理解と治療の最前線(皮膚科ベストセレクション)中山書店(2020.8)	Others
46	東裕子	皮膚科	乾癬の粘膜疹	乾癬・掌蹠膿疱症病態の理解と治療の最前線(皮膚科ベストセレクション)中山書店(2020.9)	Others
47	藤井一恭	皮膚科	わが国の皮膚リンパ腫の近年の動向について(Q&A)	日本医事新報(0385-9215)5050号	Others
48	藤井一恭	皮膚科	【“中毒疹”診断のロジックと治療】悪性リンパ腫でみられる中毒様皮疹(解説/特集)	Derma. (1343-0831)296号 Page41-	Review
49	中澤祐則、齋藤司朗、坂本泰二	眼科	片眼の視神経炎と診断された症例.	臨床眼科 74巻6号 Page658-661 (2020.06)	Case report
50	市來美沙紀、芳原直也、中尾久美子、他	眼科	白内障手術40年後に発見された水晶体核遺残の1例.	臨床眼科75巻2号 Page251-256(2021.02)	Case report
51	宮本佑美、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	経口切除を施行した咽喉頭脱分化型脂肪肉腫例	耳鼻咽喉科臨床 113(5), 315-321, 2020	Case report
52	松元隼人、永野広海、馬越瑞夫、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫を合併した耳下腺Warthin腫瘍の1例	口腔・咽頭科 33(2), 65-70, 2020	Case report
53	松崎尚寛、井内寛之、大堀純一郎、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	先天性完全側頸瘻の1例	頭頸部外科 30(1), 61-65, 2020	Case report
54	大堀純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	扁桃周囲膿瘍の診断と治療	耳鼻咽喉科臨床 113(11), 756-757, 2020	Others
55	大堀純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Coldメスによる口蓋扁桃摘出術	頭頸部外科 30(2), 183-185, 2020	Others
56	伊東小都子、川島雅樹、山下勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	内視鏡下鼻腔手術で開窓した鼻口蓋管嚢胞の1例	日本鼻科学会会誌59 suppl.S67	Case report
57	有本一華、永野広海、谷本洋一郎、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Grade 3,4突発性難聴における高気圧酸素療法の有用性の評価(原著論文)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 93(1): 67-73 2021	Original Article
58	喜山敏志、大堀純一郎、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	経口的咽喉頭部分切除術(TOVS)の問題点(会議録)	日本気管食道科学会会報 71(2) s32 2020	Others
59	宮本佑美、永野広海、大堀純一郎、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	食道入口部狭窄症例の治療経験	日本気管食道科学会会報 72(3) 145-152, 2021	Case report
60	宮本佑美、永野広海、大堀純一郎、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	顔面打撲による眼瞼腫脹が疑われた小児ランゲルハンス細胞組織球症の1例	耳鼻と臨床 66:154-160 2020	Case report
61	田淵みな子、原田みずえ、大堀純一郎、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	咽頭痛・発熱を主訴に来院した無顆粒球症の1例	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌 8(4) 362-363 2020	Case report
62	久徳貴之、井内寛之、川島雅樹、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Fusobacterium属が検出された扁桃周囲膿瘍の臨床的特徴	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌 8(4) 304	Others
63	川島雅樹、地村友宏、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	結合化ホスホリコリン(リビジュア)の粘膜アジュバント効果についての検討	アレルギー 70(1) 55 2021	Others
64	喜山敏志、原田みずえ、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	突発性難聴が疑われた多発性硬化症の1例	耳鼻咽喉科臨床補冊155 p123	Case report
65	井内寛之、喜山敏志、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	上皮細胞内侵入細菌に対する各種抗菌薬の作用	耳鼻咽喉科臨床補冊155 p176	Others
66	西藤智照、長谷川麻衣子、向原桂香、他	麻酔科	三尖弁嵌頓を伴う巨大右房腫瘍摘出術の麻酔経験	麻酔.69(8), 882-884, 2020-08	Case report
67	五代幸平	麻酔科	術後痛と炎症	ペインクリニック.41(8),1027-1034,2020-8	Original Article
68	河村健太郎、衛藤誠二、下堂衛恵	リハビリテーション科	リハビリテーション医学研究のこれから 促通反復療法研究とその周辺(解説)	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 57巻11号 Page1087-1089(2020.11)	Review
69	渡邊温子、大賀泰彦、宮脇正一	矯正歯科	短根の上顎中切歯を抜去し治療した上顎前突症例.	九州矯正歯科学会誌. 2020;16(1):14-18.	Case report
70	中川祥子、前田綾、福岡美佳、石畑清秀、他	矯正歯科	舌癌治療後に歯列弓の側方拡大を行った鞍状歯列弓を伴うAngle I級不正咬合症例.	九州矯正歯科学会誌. 2020;16(1):7-13.	Case report

71	西谷佳浩、星加知宏	保存科	マイクロテンスイル法(微小引張接着試験)について	日本歯科保存学雑誌2020.10; 63(5): 351-355.	Review
72	駒走尚大、益崎与泰、田中謙光、他	義歯補綴科	鹿児島大学病院口腔インプラント専門外来におけるインプラント治療の臨床	南九州歯学雑誌2020; 1(1): 1-6.	Original Article
73	杉浦 剛	口腔外科	患者時間軸を重視した非侵襲口腔癌精密診断とリアルタイムモニタリング	日本口腔腫瘍学会誌32(4) 153-158 2020年	Review
74	杉浦 剛	口腔外科	AIを実装した嚥下機能検査によるオーラルフレイルの評価の実証研究.	日本歯科医学会誌40 67-72 2021年3月	Original Article
75	田口則宏、西村正宏、杉浦剛、他	歯科総合診療部	COVID-19パンデミック禍における鹿児島大学での歯学教育の取り組み.	医学教育51(5) 525-527 2020年10月	Case report
76	東美智代、横山勢也、米澤傑、他	病理学	IPMNの歴史的変遷 IPMNにおけるMUC発現とその評価の歴史	胆と膵 41巻 1159-1162 (2020年11月)	Review
77	寺菌英之、佐藤洸、外山聡、他	薬剤部	【薬剤師の地域偏在について】九州地区の現状	日本病院薬剤師会雑誌 2020 8; 56(8) 869-874	Others
78	寺菌英之、佐藤洸、外山聡、他	薬剤部	【薬剤師の地域偏在について】九州地区の現状	日本病院薬剤師会雑誌 2020 8; 56(8) 869-874	Others
79	堤由美子	看護部	大腸癌患者の永久的ストーマ保有に伴う体験における意味獲得プロセス	日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌令和2年11月(オンライン);24巻3号:289-299.	Original Article
80	水迫友和、馬場祥吾、岩穴口孝、他	看護部	脳梗塞患者の入院期間が長期に及ぶ要因	第21回日本医療情報学会看護学術大会論文集 p.27-30.	Others
81	水迫友和、馬場祥吾、岩穴口孝、他	看護部	地域包括ケアシステムを見据えた脳梗塞患者の転院先予測モデルの検討	第40回日本医療情報学連合大会論文集 p.885-	Others
82	福田ゆかり、宇都由美子、岩穴口孝、他	看護部	構造化されたアセスメント情報を含む看護実施データを活用した退院支援患者の分析	第21回日本医療情報学会看護学術大会論文集.35-38 2020.6	Others
83	福田ゆかり、宇都由美子、岩穴口孝、他	看護部	構造化されたアセスメント情報を含む看護実施データの分析による退院支援の評価	第40回医療情報学連合大会論文集40(40) 783-786 2020.11	Others

計13件
合計83件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会設置者の責務、倫理委員会の役割・責務、倫理委員会の構成・業務・運営、記録の保存、調査・審議の受託、外部倫理審査委員会の利用、守秘義務等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年0回
・ 研修の主な内容 臨床研究管理センターのウェブサイトにてe-ラーニング(ICR Web)による受講を実施した。 ※主な講座：臨床研究の基礎知識講座(旧 臨床研究入門初級編)	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加することにより一層の研鑽を行うことはもとより、地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っているとともに、それぞれの専門的な高度の知識と技術の修得に努めている。

また、それぞれの科の標榜するための条件となる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学大学病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	161 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	31年	
井本 浩	心臓血管外科	部門科長	41年	
井戸 章雄	消化器内科	部門科長	37年	
大塚 隆生	消化器外科	部門科長	26年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	31年	
吉本 幸司	脳神経外科	部門科長	26年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	36年	
佐藤 雅美	呼吸器外科	部門科長	39年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	27年	
中川 昌之	泌尿器科	部門科長	40年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	32年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	36年	
中村 雅之	神経科精神科	部門科長	25年	
河野 嘉文	小児科	部門科長	40年	
家入 里志	小児外科	部門科長	27年	
小林 裕明	産婦・婦人科	部門科長	36年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	26年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	37年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	36年	
山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	25年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	32年	
犬童 寛子	顎顔面放射線科	副部門科長	25年	
上村 裕一	麻酔科	部門科長	41年	

杉村 光隆	歯科麻酔科	部門科長	34年
下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	32年
於保 孝彦	口腔保健科	部門科長	38年
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	33年
山崎 要一	小児歯科	部門科長	38年
西谷 佳浩	保存科	部門科長	25年
野口 和行	歯周病科	部門科長	35年
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	31年
西村 正宏	義歯補綴科	部門科長	27年
杉浦 剛	口腔外科	部門科長	30年
中村 典史	口腔顎顔面外科	部門科長	39年
橋口 照人	検査部	部長	35年
垣花 泰之	救命救急センター(救急科)・集中治療部	部長	35年
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	37年
谷本 昭英	病理部	部長	33年
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	27年
川村 英樹	感染制御部	副部長	21年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
肺がんについて	2020/7	1回	3人
第136回 日本脳神経外科学会九州支部会 『運動障害に対する穿頭不要の集束超音波治療「FUS」』	2020/9/15	1回	100人
鹿児島大学病院歯科インプラント研修会	2020/5/27～2021/3/17	10回	7人
インプラントカンファレンス	2020/8/24～2021/3/15	6回	18人
災害医療に関する教育	2021/1/22	1回	30人
安全の知識 輸血の基礎	2020/5/13	1回	60人
※別紙「看護部年間教育実施書」のとおり			
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
新規放射線取扱者教育訓練 動画	2020. 7	1回	165人
補綴科合同連絡会	2020/5/27～2021/3/17	5回	20人

インプラント専門外科担当 当者会議	2020/8/24~2021/3/15	10回	30人
----------------------	---------------------	-----	-----

※別紙「看護部年間教育実施書」のとおり

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

【別紙】令和2年度(2020年度)看護部年間教育実施書

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者
新人	基礎研修1 安全の知識 内服・点滴管理 転倒・転落予防 感染管理	4月7日(火) 10:30~12:15 4月8日(水) 8:30~16:45 講義会場 大ホール 総合臨床研修センター セミナー室、演習室1・2・3・4	81	1.転倒転落に関する基礎知識を習得し、演習を通して教つぎの能力を習得できる。 2.点滴に関する安全管理についての知識を習得できる。 3.標準予防策、手洗いの実践ができる	講義・演習	【講義】安全の知識「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の危険判断について」 講師：今川真由美 (医療環境安全部 GRM部長) 【演習】「RVT」「手洗い」「標準予防策」 講師：水迫友和、内匠美貴(キャリア開発教育専任)	水迫 内匠	
	基礎研修2 IT研修	4月13日(月) 9:00~16:40 4月14日(火) 8:15~16:40 第4講義室 医療情報部 操作演習室	81	1.患者情報を使う上での注意点について理解できる 2.電子カルテを使って患者情報の閲覧ができる 3.a-kappa記録システムの閲覧ができる 4.看護記録の入力が体験できる 5.電子カルテから、医師の指示の履歴、処方薬などが閲覧できる 6.THINK、医療安全、感染対策等の各マニュアル等を閲覧できる 7.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法がわかる	講義・演習	【講義】THINK操作に関わる基本事項 個人情報保護とセキュリティ 電子カルテ時代の診療記録 医療安全と看護 講師：徳島大文字学院医療学校総合保健福祉科学専攻 講師：人間環境学部医療系システム情報学 教授 宇都 由美子 【演習】THINK操作について 講師：花原 麗代(医療情報部管理課) インストラクター：水迫 友和、内匠美貴、梅木由紀(キャリア開発専任)	水迫 内匠	
	基礎研修3 輸液ポンプ・シンジジポン	4月20日(月) 8:30~16:45 第4講義室 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	81	医療人として必要な基礎的知識 輸液ポンプ・シンジジポンの基礎知識が習得できる 看護が提供できる看護実践 能力を養う	1.輸液ポンプ・シンジジポンについて理解できる 2.輸液ポンプ・シンジジポンの基礎知識が習得できる 3.ポンプ・シンジジポンの取り扱い インストラクター：田中 亮太、中島高峰、戸高秀栄(臨床工学技士) 梅木由紀、内匠美貴、水迫 友和(キャリア開発教育専任)	講義・演習	【講義】医療機器の取り扱い、輸液ポンプ・シンジジポンについて 講師：田中 亮太(臨床工学技士) 【演習】輸液ポンプ・シンジジポンの基礎知識の習得 講師：梅木 由紀(キャリア開発教育専任) 【演習】輸液ポンプ・シンジジポンの取り扱い インストラクター：田中 亮太、中島高峰、戸高秀栄(臨床工学技士) 梅木由紀、内匠美貴、水迫 友和(キャリア開発教育専任)	水迫 内匠
	基礎研修4 安全の知識 輸血の基礎 薬剤の基礎	5月14日(木) 13:00~16:00 講義会場 大ホール	81	1.輸血管理の基礎知識を習得する 2.薬剤管理の基礎知識を習得する	講義	【講義】輸血の基礎 講師：徳島、細谷法義(看護部長、古川良尚医師) 【講義】薬剤の基礎(内服薬、注射薬の基礎) 講師：薬科部部長 菅原秀輝(薬剤師)	水迫 内匠	
	基礎研修5 感染症看護・血腫測定 精神科病棟	5月19日(火) 9:00~15:45 5月20日(水) 9:00~15:45 第3講義室	81	1.感染症看護の基礎知識を習得できる 2.血腫測定を安全に実施するための知識と技術を習得する 3.精神科病棟を安全に実施するための知識と技術を習得する	講義・演習	【講義】感染症看護の基礎知識 講師：井上道和(看護部看護実践教育専任) 【演習】血腫測定と精神科病棟の演習 講師：内匠美貴(キャリア開発教育専任) 5/19 インストラクター：菅原秀栄(8B)、野村孝子(9C) 梅木由紀(キャリア開発) 5/20 インストラクター：新藤ゆきほ(87)、菊永麻美(9C)、日山みづえ(97) 梅木由紀(キャリア開発)	菅原(示) 新藤 水迫 内匠	
	基礎研修6 PNSマインド 夜勤導入前研修	5月27日(水) 5月28日(木) 16:30~12:00 PNSマインド 20:15:30~16:30 総合臨床研修センター セミナー室、演習室1・2	80	1.バートナーシップ・マインドを理解し、臨床において実践できる 2.PNSが機能するために自身が習得すべき理解できる 3.夜勤業務の役割と夜勤の看護ケアの特徴がわかる。また夜勤業務時の自分の役割を把握し、夜勤について理解できる 4.夜勤業務に関する疑問や不安が軽減できる	講義・演習	【講義】PNSマインド 講師：水迫友和(キャリア開発教育専任) 【演習】PNSの実践(ロールプレイ) ファシリテーター：5/27 梅木由紀(9C)、5/28 内山美香(9B) 【演習】夜勤の心得 講師：内匠美貴(キャリア開発教育専任)	梅木 内山 内匠 水迫	
	基礎研修7 看護必要度含む)	6月11日(金) 13:00~15:30 講義会場 大ホール	81	医療人として必要な看護実践 能力を習得できる	1.POSによる看護記録 2.重症度・医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる 3.評価した内容を、看護記録に正確に記録できる	講義・演習	【講義】POSによる看護記録 講師：内匠美貴(キャリア開発教育専任) 【演習】重症度・医療・看護必要度 講師：水迫友和(キャリア開発教育専任) 【演習】重症度・医療・看護必要度 講師：水迫友和(キャリア開発教育専任)	水迫 内匠
	基礎研修8 フィンガカルアセスメント	6月17日(水) 8:15~16:45 総合臨床研修センターセミナー室 演習室1・2	81	1.フィンガカルアセスメントに関する基礎知識を習得できる 2.フィンガカルアセスメントの基本技術が習得できる 3.グループワークで実際のフィンガカルアセスメントを実施できる (正常・異常の判断ができる)	講義・演習	【講義】フィンガカルアセスメントの基礎知識 講師：白崎哲人(検査認定看護師) 【演習】事例を用いたフィンガカルアセスメントの実践 講師：白崎哲人(検査認定看護師) インストラクター：内匠美貴、(キャリア開発教育専任) 講師：水迫友和(キャリア開発教育専任) インストラクター：梅木由紀(キャリア開発教育専任)	白崎 水迫 内匠	
	基礎研修9 食事介助・口腔ケア・ 経管栄養	6月25日(水) 16:30~12:15 20:15:00~16:45 講義・演習会場 演習：総合臨床研修センター 演習室1,2,3,4	81	1.口腔ケアの基礎知識、技術を習得できる 2.食事介助の基礎知識、技術を習得できる 3.経管栄養の基礎知識、技術を習得できる	講義・演習	【講義・演習】口腔ケア・食事介助・経管栄養について 講師：梅木由紀(検査認定看護師) 講師：水迫友和(キャリア開発教育専任) 白山みづえ(97)、新藤由佳(検査部) 内匠美貴、水迫友和(キャリア開発教育専任)	水迫 内匠	

基礎研修10 ストレスマネジメント	7月1日(水)13:00~16:45 鶴塚会館 大ホール	80		1.心の健康とストレスについて理解し、対応についても理解できる	講義	【講義】ストレスマネジメント 講師:鹿島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授 山下至矢子	内匠 水迫
基礎研修11 緊急(口内腔、気管内)	7月16日(木)18:30~16:45 7月17日(金)18:30~16:45 総合臨床研修センター 演習室1-2-3-4			1.口内腔吸引が演習で出来る 2.閉鎖式吸引が演習で出来る 3.酸素吸入中の患者の看護について理解できる	講義・演習	【講義】酸素吸入中の患者の看護 講師:呼吸療法士 寺岡大壽(COU) 【演習】吸引 進行:内匠美真(キャリア開発教育専攻) インストラクター:島田千秋(回復期リハ)、植島由可(回復期リハ)、高橋千枝(回復期リハ)、五山真次子(NIDD) 【演習】閉鎖式吸引トレーニング 水迫友和(キャリア開発教育専攻)	内匠 水迫
基礎研修12 静脈注射 筋肉注射 皮下注射	8月4日(火)18:30~16:45 8月5日(水)18:15~16:45 鶴塚会館 総合臨床研修センター 演習室1.3.4	59		1.動脈注射、皮下注射、筋肉注射を実施する上で必要な解剖・生理について学ぶ 2.安全に動脈注射、皮下注射、筋肉注射が演習できる	講義・演習	【講義】注射に関する解剖生理 講師:竹之内真美(G7) 【講義】注射に関する解剖生理のアセスメント 講師:上野かほり(CS) 【演習】注射に關した演習(キャリア開発教育専攻) 講師:水迫友和(キャリア開発教育専攻) 【演習】注射に關した演習(キャリア開発教育専攻) 講師:インストラクター:石川みゆき(59)、森尾里香(35外孝)、菊永麻美(CF)、松元理恵(B3) 島田千秋(回復期リハ)、齊藤由紀子(B9)、北野舞(学術部)中園美香(COU) 内匠美真、梅木由紀、水迫友和(キャリア開発教育専攻)	竹之内 上野 下野 内匠 水迫
基礎研修13 看護予防	9月16日(火)18:30~16:45 9月18日(木)18:30~16:45 保健学科4階 基礎・成人看護学 実習室	60		1.看護予防・看護予防の体位変換やポジショニング、良肢位など基本的知識・技術を習得できる 2.構成員の意見、指導を受けながら立案できる	講義・演習	【講義】看護予防技術 講師:竹野沙織(医療技術センター認定看護師) 講師:西野野智代(成清構造物認定・特定看護師) 【演習】看護予防・構成員の意見 インストラクター:江田みゆき(59)、森尾里香(35外孝)、菊永麻美(CF)、松元理恵(B3) 島田千秋(回復期リハ)、齊藤由紀子(B9)、北野舞(学術部)中園美香(COU) 内匠美真、梅木由紀、水迫友和(キャリア開発教育専攻)	内匠 水迫
基礎研修14 BLS	10月15日(木)、10月16日(金) 8:00~11:00、13:00~15:00 総合臨床研修センター演習室3.4	61		1.AEDを含む一次救命処置について学び、演習場で実践できる	講義・演習	【講義・演習】BLS講義・演習 講師:西村伸也(CS)(災害支援コース) 実習場所:6F災害支援コース 実習器具:6F災害支援コース インストラクター:梅木由紀、内匠美真、水迫友和(キャリア開発教育専攻)	梅田 水迫 内匠
基礎研修15 フィジカルアセスメント ローアップ	2日5日(金) ①18:30~12:00 ②13:00~15:00 鶴塚会館 中・小ホール	60		1.フィジカルアセスメント技術の振り返りができる 2.アセスメント能力を高めることができる 3.事例の状況変化の一次評価を報告できる	講義・演習	【講義・演習】フィジカルアセスメント 講師:白幡香人 救急認定看護師(B2)副看護師(長) 【演習】認知症アセスメント 心電図(不整脈)に關して 担当:水迫友和(キャリア開発教育専攻)	白幡 水迫
看護を語る会	11月11日(水)9:00~16:45のうち 指定された時間参加 臨床研修センター セミナー室	61		1.自分の抱えた事例や上っ手くいたと感じた看護体験の振り返りが出来る 2.他参加者の看護体験を共有できる 3.看護の楽しさ、やりがい、満足感を発表できる 4.看護専門職としての姿勢や態度についての自分の課題を考えられる	発表会	【語り】自分の看護を語る「心に残る患者(看護)」 参加者:伊地知麗美(NIDD)看護師(長)、齊藤由紀子(B9)副看護師(長)、 友菜美子 副看護師(長)、水迫友和、内匠美真、高島利恵(キャリア開発教育専攻) ＜ポスターセッションについて＞ 担当:水迫友和(キャリア開発教育専攻)、 梅木由紀、内匠美真、高島利恵(キャリア開発教育専攻)	伊地知 麗美 高島 内匠 水迫
看護実践プロセスI	12月8日(火)18:15~16:45 臨床研修センターセミナー室 12月9日(水)18:30~12:00 13:15~16:45 鶴塚会館 中・小ホール	49		1.看護の役割を理解できる 2.自己の看護観について考えられること 3.看護実践プロセス(個別性のある看護)を理解し、表現できる	講義・演習	【講義】看護の視点と看護観 講師:水迫友和(キャリア開発教育専攻) 【演習】看護観の表現 講師:内匠美真(キャリア開発教育専攻) 【演習】事例に基いた事例の看護上の問題点をアセスメント・看護計画を立て、看護の視点や看護観を表現できる 担当:水迫友和(キャリア開発教育専攻)、 梅木由紀、内匠美真、高島利恵(キャリア開発教育専攻)	内匠 水迫
看護実践プロセスII	12月22日(火) 9:00~16:45 鶴塚会館 大ホール 臨床研修センター セミナー室	59		1.看護実践プロセス(看護観)の展開方法を理解できる 2.アセスメント能力を高めることができる 3.個別性・継続性に配慮した看護について考えられること 4.チームメンバーの一人、プライマリナーズとしての役割について考えることができる	講義・演習	【講義】看護実践プロセス 講師:山口おほり先生(医学部保健学科看護学講座助教授) 【演習】アセスメント能力を高めること 講師:高橋千枝(回復期リハ)、高橋千枝(回復期リハ) 【演習】チームメンバーの一人、プライマリナーズとしての役割について考えること 講師:加藤智子(救急看護) インストラクター:加藤智子(救急看護)、内山美香(CR) 梅木由紀、内匠美真、高島利恵(キャリア開発教育専攻)	内山 内匠 高島
2年目研修I 看護倫理I	6月5日(金) 16:30~11:45 2G:13:00~16:15 総合臨床研修センター セミナー室	49		1.看護者が守るべき倫理について理解できる 2.自己の看護観について、看護倫理の観点から振り返ることができる 3.臨床現場における倫理問題解決に向けた取り組みについて、具体的に考えることができる	講義・演習	【講義】看護倫理 講師:本菜美子(倫理・教育担当副看護師(長)) 【演習】看護倫理に関する事例検討(グループワーク) 講師:高橋千枝(回復期リハ) 講師:高橋千枝(回復期リハ) 内匠美真、水迫友和(キャリア開発教育専攻)	本菜 高橋 内匠 水迫

<p>指導介助 閉鎖式吸引操作</p>	<p>7月28日(火) 7月29日(水) ①8:30~12:00、②13:00~16:00 臨床研修センター セミナー室 臨床研修センター 演習室1・2・3・4</p>	<p>47</p>	<p>1.指導介助ができる 2.閉鎖式吸引内吸引ができる</p>	<p>【講義】指導介助の重要性について 講師:加賀砂子(集中ケア看護認定・特定看護師) 【演習】指導介助・吸引 インストラクター:加賀砂子(集中ケア(CS)、床之地代子(手術部)) 内匠美貴、水迫友和(キャリア開発・教育専任)</p>	<p>加賀 白旗 内山 津之場 水迫 内匠</p>
<p>技術研修Ⅱ-② 人工呼吸器管理</p>	<p>①9月12日(水)8:15~12:15 ②9月13日(木)12:45~16:45 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4</p>	<p>47</p>	<p>1.人工呼吸器管理に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器管理患者の看護について理解できる 3.人工呼吸器管理中の安全対策について考えられることができる</p>	<p>【講義】人工呼吸器の基礎 講師:佐藤 秀久(臨床工学技士) 【講義】人工呼吸器管理中の患者の看護 講師:加賀砂子(集中ケア看護認定・特定看護師) 【講義】人工呼吸器管理のインシデント・アラームについて 講師:加賀砂子(集中ケア看護認定・特定看護師) 【演習】指導介助・吸引 インストラクター:佐藤 秀久、中島高博、徳田孝仁(臨床工学技士)</p>	<p>加賀 水迫 内匠</p>
<p>技術研修Ⅲ 聴診・12誘導心電図 技術評価</p>	<p>10月27日(火)、10月28日(水) 8:00~16:00指定された受講時間 30分 総合臨床研修センター 演習室4・5・7</p>	<p>46</p>	<p>1.聴診器が正しく使用でき、呼吸音聴診ができる 2.12誘導心電図の電極が正しく装着できる。</p>	<p>【技術評価】呼吸音聴診・12誘導心電図装着 内匠美貴、水迫友和(キャリア開発・教育専任)</p>	<p>内匠 水迫</p>
<p>技術研修Ⅳ-② エンゼルケア</p>	<p>11月17日(火) 11月18日(水) 16:30~12:30 臨床研修センター4階実習室(棟内)</p>	<p>49</p>	<p>1.エンゼルケア・看取りの重要性について基本的な知識・技術を習得できる</p>	<p>【講義】エンゼルケア 講師:田畑真由美(緩和ケア認定看護師) 【講義】お送りの看護 講師:津田美穂(ES科看護師長)②江田みゆき(B3科看護師長) 【演習】エンゼルケア、エンゼルケア 講師:モリス直貴、カール・ブローワー インストラクター:上野かおり(CS科看護師長)、原藤理子(CS科看護師長) 橋本由紀、水迫友和、内匠美貴(キャリア開発・教育専任)</p>	<p>水迫 内匠</p>
<p>地域施設見学事前学習 研修</p>	<p>2月19日(金) 8:00~16:00 総合臨床研修センター セミナー室</p>	<p>48</p>	<p>1.地域における社会資源に関する知識を得て、地域医療に関する理解を深めることができる 2.グループワークを通して不足している社会資源の情報を集約できる 3.事例検討を通して社会資源の活用について考えることができる 4.自身の地域施設見学及び帰国における連携支援やブライマリー・患者に対する看護をイメージできる</p>	<p>【講義】地域施設見学の進め方、地域施設見学の進め方について 講師:芝野美子 副看護師長 【講義】当該における連携支援のあり方 講師:下松裕子(地域医療連携センター副看護師長) 【演習】共通事例に対する連携支援検討 (鹿児島県田原市でグループ構成し、担当医職間でグループについて事例検討)</p>	<p>島越 内匠 水迫</p>

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者
	プリセプターフォローアップ研修Ⅰ	6月19日(金) ①08:30~11:00 ②12:00~14:15 ③14:45~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	52	新人へ主体的に関わる方法を修得する	1.プリセプターとしての役割を再認識し、新人看護職員に対する精神的な支援について具体的な方法、課題を共有できる 2.新人看護職員を取り巻く環境を理解し、今後どのような支援が望ましいか考えられること	講義・演習	【講義】7~9月の新人指導について 講師:梅木由紀(キャリア開発教育専攻) 担当:水迫友和(キャリア開発教育専攻) 【演習】①コミュニケーション・タイプ診断 ②グループワークが新人看護職員の精神的支援について 演習支援者:梅木由紀、内匠美貴、高岡利恵(キャリア開発教育専攻)	梅木 由紀 内匠 美貴
	プリセプターフォローアップ研修Ⅱ	11月20日(金) A:09:00~11:00 B:12:15~14:15 C:14:45~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	48		1.プリセプターとしての役割を再認識し、新人看護職員に対する精神的な支援について具体的な方法、課題を共有できる 2.新人看護職員を取り巻く環境を理解し、今後どのような支援が望ましいか考えられること	講義・演習	【講義】12~3月の新人指導について 講師:梅木由紀(キャリア開発教育専攻) 【演習】新人看護職員がプリセプターに求める支援 講師: 【演習】ロールプレイ(新人看護職員が求める支援について考える) 演習支援:柴 幹(総合臨床研修センター長)、梅木由紀、内匠美貴(キャリア開発教育専攻)	梅木 由紀 内匠 美貴
	プリセプター研修・基礎	3月23日(火) ①09:00~11:00 ②12:15~14:15 ③14:45~16:45 第4講義室	47	プリセプターの役割を理解できる	1.プリセプターの役割について理解できる 2.当院の新人育成プランを理解できる 3.プリセプターの役割を担うことへの不安や期待を受講生と共有できる	講義・演習	【講義】プリセプターの役割 講師:泉 志幹(総合臨床研修センター長) プリセプターに期待すること 講師:梅木由紀(キャリア開発教育専攻) 【演習】グループワーク「目標を立てて、なりたいプリセプターになろう!」 演習支援:柴幹(総合臨床研修センター長) 梅木由紀、水迫友和(キャリア開発教育専攻)	泉 志幹 梅木 由紀 水迫 友和
人材育成	デジタルヘルスケアセミナーアドバンスコース研修 臨床会議中・小ホール 臨床研修センター講習室 1~2・3(シミュレーター演習)	10月13日 11月27日 12月21日 1月14日 2月15~18日	27	デジタルヘルスケアシステムに関する知識・技術を習得し、業務においてデジタルヘルスケアシステムを推進する高い能力をもつ看護職を育成する	1.自己のデジタルヘルスケアシステム能力を向上できる 2.研修での学びを臨床現場で活かすことができる 3.デジタルヘルスケアシステムに関する自己の課題を見いだすことができる 4.所属部署のデジタルヘルスケアシステムに関する課題を提出することができる	講義・演習	【講義・演習】1)各分野におけるデジタルヘルスケアシステムに関する講義 (演習:呼吸・脳神経・循環器・消化器・代謝・輸液) 2)事例検討(ISBARを用いた報告を含む) 3)シミュレーター演習(NRS事例を用いたグループ演習)	水迫 友和
	臨床指導者研修	9月8日(水)9:00~13:00 臨床会議 中・小ホール	22	臨床指導者としての役割を理解し、学生指導が実施できる	1.臨床指導者の役割を説明できる 2.臨床指導者の役割を説明できる 3.自己の実習指導を振り返り、課題に対する具体的な解決方法を列挙できる	講義・演習	【講義】演習指導の原理(OVD指撥) 講師:中根直美(保健学科看護学講座准教授) 【演習】臨床指導者研修で授業を学ぶ! 担当:濱島ゆかり(RU・放射線科)、下別府智子(2F外来) 梅木由紀(キャリア開発教育専攻)	濱島 直美 下別府 智子 梅木 由紀
	指導教育ナースフォローアップ研修	10月23日(金) 13:00~15:30 総合臨床研修センターセミナー室	18	部署における指導教育ナースとしての役割を果たすことが出来る	1.OJTについて理解を深めることができる 2.人材育成の具体的な方法について理解できる 3.今後の指導教育ナースとしての目標を明確化することができる+FRAG	講義・演習	【講義】OJTとは 講師:水迫友和(キャリア開発教育専攻) 【演習】人材を育てる具体的方法 講師:川上ひろみ(学習・ラーニング講師) 【演習】グループワーク(事例検討・問題分析と具体的支援計画) ファンシリアクター・滝之橋紀代子(学務部)、高岡利恵(キャリア開発教育専攻) 梅木由紀、内匠美貴、水迫友和(キャリア開発教育専攻)	滝之橋 紀代子 高岡 利恵 水迫 友和
	指導教育ナース育成研修	3月26日(金) 8:30~12:00 総合臨床研修センターセミナー室	15	部署における指導教育ナースとしての役割を果たすことが出来る	1.新人看護職員卒業研修及び当院の教育体制を理解できる 2.指導教育ナースとしての役割を理解できる 3.集合研修後の部署OJTの効果的な支援を考える事が出来る 4.部署での新人教育の企画製作を行うことで、効果的なOJTについて考えられること	講義・演習	【講義】当院看護部の教育体制と教育プログラム 講師:高岡利恵(キャリア開発教育専攻) 担当:高岡利恵(キャリア開発教育専攻) 新人看護師について、部署教育ナースの役割~部署OJTについて~ 講師:内匠美貴(キャリア開発教育専攻) 【演習】研修の振り返り「学習・ラーニング」学習を促すシミュレーション教育の基本 講師:濱島 直美、柴幹(総合臨床研修センター長)、水迫友和(総合臨床研修センター長) 【発表交換】 部署の教育課題について インストラクター、水迫友和(04臨床看護師) 水迫友和、内匠美貴、高岡利恵(キャリア開発教育専攻)	水迫 友和 内匠 美貴

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	内容	講師	担当者
	勤務リーダー研修①	7月9日(金)18:00~12:00 総合臨床研修センターセミナー室	19	チーム医療の中でリーダーシップを果し、安全で質の高い看護サービスを提供できる	1.リーダーシップとマネジメントについて理解する 2.勤務リーダーの役割について理解する 3.勤務リーダーを担うにあたっての自己の課題に気づくことができる	講義・演習	【講義】リーダー概論 【演習】勤務リーダーの実際 【演習】リーダーに求められる判断力 講師：濱高ゆかり看護部長(内・放射線科) 講師：廣田由紀子副看護部長(IS)	原田 濱高 廣田
	勤務リーダー研修②	1月13日(金) 総合臨床研修センターセミナー室	22		1.リーダーシップとマネジメントについて理解する 2.勤務リーダーの役割について理解する 4.勤務リーダーを担うにあたっての自己の課題に気づくことができる	講義・演習	【講義】リーダー概論 【演習】勤務リーダーの実際 【演習】リーダーに求められる判断力 講師：伊崎知盛 看護部長 (NICU) 講師：佐藤祥子 副看護部長 (CS)	新藤 伊崎 佐藤 新木 高更
	看護倫理Ⅱ	7月31日(金)13:00~16:15 臨床会館 中・小ホール	26	現場における倫理的問題に気づき、問題解決の方法を習得できる	1.看護者が守るべき倫理について理解できる 2.看護者が抱える倫理的問題のシナリオについて理解できる 3.事例を用いて倫理的問題を後押し、解決方法を考える事ができる 4.倫理カンファレンスの進め方について理解できる	講義・演習	【講義】看護実践における倫理的課題と対応 【演習】Jonsenの4分類法を用いた事例検討(事前課題事例) 講師：清野敬祐(がん看護専門看護師、教育担当副看護部長) 講師：清野敬祐(がん看護専門看護師、緩和ケアメーター) 講師：清野敬祐(緩和ケアメーター) 講師：岩坪美(緩和ケアメーター) 内山美香(CS)、水川桂子(ICU)、新木由紀(キャリア開発室教育専任)	内山 水川 新木
	専門分野研修 がん化学療法看護	9月30日(木) 13:30~15:30 総合臨床研修センターセミナー室	20	特定の分野において、より専門的な知識と実践的技術を学び、質の高い看護を提供する 質を高める	1.がん化学療法看護の基礎知識を習得できる	講義	【講義】がん化学療法看護の基礎 【演習】がん化学療法看護の実際(初級編) 講師：古留加奈(がん化学療法看護認定看護師) 【演習】実践に活かそう！副作用対策(初級編) 講師：丸野なお子(がん化学療法看護認定看護師)	内匠 水迫
	専門分野研修 皮膚・癌下降看護	11月24日(水) 13:30~15:30 臨床会館 中・小ホール	18	癌下降看護の各領域の深い知識と実践的技術を学び、質の高い看護を提供する し、また、リスク管理の重要性について理解する	1.癌下降看護の基礎知識を習得できる 2.癌下降看護において問題となる病態性肺炎・窒息・低栄養・脱水などリスク管理の必要性が理解できる	講義・演習	【講義】癌下降看護に関するアセスメント 【演習】癌下降看護に關するアセスメント 講師：新木由美(癌下降看護認定看護師)	新木 水迫
	専門分野 認知症看護	10月30日(金) 13:00~15:30 臨床会館 中・小ホール	21	特定の分野において、より専門的な知識と実践的技術を学び、質の高い看護を提供する	1.認知症看護の基礎知識を習得できる	講義	【講義】認知症の症状 【演習】中野美奈(認知症看護認定看護師) 【演習】すぐできる！認知機能を促したアセスメント援助 講師：内匠美香(認知症看護認定看護師)	中野 内匠
	(公明講座) 皮膚排泄ケア(初級編)	7月13日(土) 9:30~12:30 総合臨床研修センターセミナー室	18		1.皮膚排泄ケアの基礎知識を習得できる	講義・演習	【講義・演習】予防的スキンケアと癌看護 【演習】西澤野智代(皮膚排泄ケア認定、特定看護師) 竹原沙織(皮膚排泄ケア認定看護師)	専門・特定 認定 看護師 看護師会

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者
	看護管理者研修 中堅スタッフ 概念化スキル向上研修 (ベネシック)	9月9日(水) 9月10日(木) 9:00~18:00 鶴岡会館 中・小ホール	30	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。管理者を支援できる。		講義・演習	概念化スキル向上トレーニング①「組織力を高める」 「仮設型等・協働力を高める」 「自己のメンタルモデルを認識する」 「スタッフを育てる・活かす」～問題事例を振り返り解決する」 講師：株式会社サイバー 河野 秀一先生	看護部 教育
	看護管理者研修 中堅スタッフ 概念化スキル向上研修 (アトランス)	10月8日(水) 10月9日(木) 9:00~18:00 鶴岡会館 中・小ホール	22			講義・演習	概念化スキル向上トレーニング②「多様化する価値観を認め、問題を解決する」 「問題の共通性を理解する」 「システムを学ぶ」 講師：株式会社サイバー 河野 秀一先生	看護部 教育
	看護管理者研修 副看護部長 コンピテンシー導入研修	11月6日(金)13:20~18:30 鶴岡会館大ホール	76	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。管理者を支援できる。	1.看護管理に活かすコンピテンシーについて理解する 2.コンピテンシー研修法を用いて自己評価をすることで、自己の管理実践を振り返ることができる	講義・演習	【講義】リモート研修(講義・グループワーク) 講師：小笠山 哲子 (東京大学医学部附属病院 看護部長)	看護部 教育
	看護管理者研修 副看護部長 コンピテンシーグループ フレキシオン研修	2月9日(火) 2月12日(金) 8:45~14:45 鶴岡会館 中・小ホール	77	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。	1.看護管理に活かすコンピテンシーについて理解する 2.コンピテンシー研修法を用いて自己評価をすることで、自己の管理実践を振り返ることができる	講義 グループ ワーク	【講義・グループワーク】 コンピテンシー-領域3:企画実行力、領域4:影響力 講師：支店長・看護部長、副看護部長、教育専任部長	看護部 教育
	経営 I	6月25日(金)17:30~18:30 6月30日(火)17:30~18:30 鶴岡会館 大ホール	128	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院の経営目標について理解できる 2.病院の経営目標に対し、看護師が果たすべき役割について理解できる 3.研修で学んだことを管理実践できる	講義	【講義】経営改善への取り組み 講師：岩戸 孝 (医療情報部部長) 講師：福田 伸一 (地域医療連携センター 看護部長)	実業(元) 高見
	リーダーシップ	9月14日(金) 13:30~18:45 総合臨床研修センターセミナー室	26	日常の看護活動の中で、医療チームの一員としての適切なリーダーシップを発揮し、よりよいチームができれば、真の向上を図る	1.リーダーシップについて理解する 2.よりよいチーム活動のための効果的なリーダーシップについて考えること ができる 3.リーダーシップを研修するための自身の自身の課題を認識できる	講義・演習	【講義】リーダーシップについて 【演習】自己の役割実行のための効果的なリーダーシップを考える 講師：徳島大学教育学部附属高等学校校長 高橋 誠 専攻長 青木 巳幸 先生	津波 竹内 高見
	看護研究研修 I	6月25日(金) 17:15~18:15 第4講義室	34			講義	【講義】研究お助けサロンでよくある相談内容と助言を通して(総論) 講師：西高 節子 (看護学看護学専攻 看護学講座)	永田 高見
	看護研究研修 II	7月10日(金) 17:15~18:15 第5講義室	37			講義	【講義】文献検索演習 講師：医学部保健学看護学専攻地域包括看護学講座 准教授 東玉 眞平 先生	津島 高見
	看護研究研修 III	8月27日(木) 17:15~18:15 第5講義室	37	看護研究の基本的な知識を身につけて、看護研究に取り組みることができる	1.看護研究を行うために必要な基本的な事項について理解できる 2.私的层面から実践のある研究目的設定までのプロセスや研究の展開方法を習得する 3.研究での学びを研究活動に活かすことができる	講義	【講義】研究倫理申請をするにあたってよくある?倫理上の注意事項 講師：医学部保健学看護学専攻地域包括看護学講座 准教授 山本 眞子 先生	津島、 高見
全体	看護研究研修 IV	9月17日(木) 17:15~18:15 第5講義室	37			講義	【講義】研究を通しての学び 講師：上山 真 (2F外室) 窪地 19日(58研修)	伊地知 高見

<p>9月1日(火) 10月21日(水) A 10:00~11:30 B 13:00~14:30 C 15:15~16:45 総合臨床研修センターセミナー室 演習室3・4</p>	<p>34 36</p>	<p>医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全安心な業務が提供できる看護実践能力を養う</p>	<p>1.正しい胸骨圧迫が出来る 2.バウバールマスクを用いて、換気出来る 3.AEDが使用できる</p>	<p>【BLS講義・演習】 講師:佐田麻織 (B2)災害支援ナース、内山美奈(救急看護認定看護師) 加藤妙子(救急看護中ケア認定・特定看護師) 西村広章(CO)災害支援ナース、高橋美天(B2)災害支援ナース イストラフナー・水迫友和、内匠美貴(キャリア開発教育専任)</p>	<p>加賀 水迫 内匠</p>
<p>7月8日(水)10:00~11:00 演習室 第4講義室</p>	<p>67</p>	<p>1.感染予防に必要な知識を習得することができる 2.手指衛生の重要性や防護用具の適切な使用について理解できる</p>	<p>【講義】 検疫について 【講義】 感染対策とSS</p>	<p>下別府 梅木</p>	
<p>7月27日(月)~8月21日(金) のうさ14:30~15:30</p>	<p>65</p>	<p>1.薬類、衛生材料、医療器材について搬入での管理方法がわかる 2.物品管理における医療器材管理課と部室との連携を知る</p>	<p>【研修】医療器材管理課の実地研修 講師:医療器材管理課 田浦幸子 看護部長</p>	<p>田畑 梅木</p>	
<p>10月2日(金) 10月4日(日)のいづれか 9:30~11:30 13:00~15:00 総合臨床研修センターセミナー室 演習室3・4</p>	<p>68</p>	<p>1.接患介助が必要な患者の車載、プライバシーの保護、差恥心の配慮ができる 2.おむつ交換の方法が理解できる 3.ベッドからストレッチャーへの安全・安楽な移乗・移送方法が理解できる</p>	<p>【学術ラーニング模倣】 看護補助ナース①移動のお世話 【演習】①ストレッチャー移乗 ②おむつ交換 インストラクター:上野かおり(C5)、梅田美穂(B6)、藤田和幸(C2)、田原紀紗(B7) 新藤ゆき枝(B7)、岡久美理香(C6)、川崎こずえ(B5) 内匠美貴、高木田記、水迫友和(キャリア開発教育専任)</p>	<p>上野 梅田 新藤 梅木</p>	
<p>12月17日(水) 12月18日(金)のいずれかに参加 9:30~11:30、13:00~15:00</p>	<p>67</p>	<p>1.速やかに応答を呼ぶ必要性が理解できる 2.正しい胸骨圧迫の方法が理解できる 3.正しいAEDの使用方法が理解できる</p>	<p>【講義】 救急発生論 講師:佐田麻織(B2)災害支援ナース 西島宏平(B7)災害支援ナース 【演習】 BLS実技 インストラクター:藤原元代(B9)、津之地紀代子(手術部)、江田みゆき(B4) 竹ノ内真美(O7)、永田亜紀(O4) 梅木田記、内匠美貴、水迫友和(キャリア開発教育専任)</p>	<p>河原(元) 津之地 江田 竹之内 梅木</p>	
<p>1月22日(金) 9:30~11:30、13:00~15:00のいずれかの時間帯に2時間参加</p>	<p>66</p>	<p>1.医療制度の概要及び病院組織を理解する 2.看護補助者の業務を理解し、看護ケアについて重要な役割を担っていることを理解する 3.個人情報保護と守秘義務の重要性について理解できる 4.医療裁判における争点について理解できる 5.医療裁判に求められる倫理観や倫理的に配慮した対応について考えることができる。</p>	<p>【講義】①医療制度の概要と組織について 医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について ②医療チームの一員としての看護補助業務について ③麻痺・倫理について</p>	<p>塩濱 梅木</p>	

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 薬剤部長 (武田泰生) 臨床技術部長 (弓場裕之) 医務課長 (山森剛)	医療情報部長 (宇都由美子) 看護部長 (宮蘭幸江) 総務課長 (鮎川秋徳)

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	病院日誌	総務課		
		各科診療日誌	各センター、部門科		
		処方せん	薬剤部		
		手術記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)		
		看護記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)		
		検査所見記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)		
		エックス線写真	医療情報部・放射線部/PACS保管		
		紹介状	医療情報部診療情報管理室 (病歴室)		
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)	<p>(1) 診療記録に関する諸記録は、2007年以降の外来及び入院分から電子カルテに保管している。</p> <p>(2) 一部の諸記録 (紹介状、同意書等) については、1患者IID番号により、外来ホルダー、入院ホルダーにわけて定められた保存期間に基づき、一括管理している。</p> <p>(3) 保管期間を超過した紙媒体の診療諸記録は、廃棄ルールに基づき、原則廃棄している。</p> <p>(4) 画像データ (CT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影等) は2013年からはデジタル画像として院内サーバにて保存している。</p> <p>(5) 特別な場合 (医療訴訟、公的機関からの要請等) 以外は、院外への持出しは厳禁としている。</p>
		従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
		高度の医療の提供の実績	医務課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課		
		高度の医療の研修の実績	総務課		
		閲覧実績	総務課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課		
	第一規則	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部		
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課		
		医療に係る安全管理のための委	医務課		

	員会の開催状況		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	総務課 医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
閲覧担当者氏名	総務課長 鮎川 秋徳	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 趣旨</p> <p>(2) 安全管理に関する基本的考え方</p> <p>(3) 組織に関する基本的事項</p> <p>(4) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</p> <p>(5) 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>(6) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>(7) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</p> <p>(8) 患者等からの相談への対応に関する基本方針</p> <p>(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療の安全管理体制の確保に関すること</p> <p>(2) 医療に関する安全管理指針に関すること</p> <p>(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること</p> <p>(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること</p> <p>(5) その他医療の安全管理等に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容(すべて)：e-learning研修</p> <p>(1) 医療安全研修1</p> <p>(2) 医療安全研修2</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した。</p> <p>(2) 医療安全活動強化月間(6月・11月)を設定した。</p> <p>(3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント(1)レベル0、1報告の推奨を行った。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I 趣旨 II 院内感染対策の基本指針 III 組織体制 IV 職員の教育及び研修 V 報告に関する基本方針 VI 対応に関する基本方針 VII その他 VIII 閲覧 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <p>本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p> 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）：e-learning研修 <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策研修①「新型コロナウイルス感染症の対策・診療」 院内感染対策研修②「標準予防策と感染経路予防策」 院内感染対策研修③「インフルエンザ・感染性胃腸炎」 院内感染対策研修④「結核」 院内感染対策研修⑤「抗菌薬適正使用」 院内感染対策研修⑥「敗血症」 <p>※その他に清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者や過去の耐性菌検出者の入院時に部署から感染制御部に報告 (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告 (3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出 (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告 (5) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告 (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 16 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2020/4/2 新規採用者ガイダンス（医師）</p> <p>2020/4/3 新規採用者ガイダンス（歯科）</p> <p>2020/4/6 研修医ガイダンス</p> <p>2020/5/14 看護部新規採用者研修会</p> <p>2020/5/14 麻薬の取扱い・管理について (B7)</p> <p>2020/7/28 せん妄について (C7)</p> <p>2020/7/29 糖尿病治療薬 (C7)</p> <p>2020/7/29 FP-Cmab（フルオロウラシル・シスプラチン・アービタックス）について (C3)</p> <p>2020/11/4 麻薬の取扱い・管理について (B8)</p> <p>2020/11/11 麻薬の取扱い・管理について (手術室)</p> <p>2020/11/12 麻薬の取扱い・管理について (看護師会議)</p> <p>2020/12/25 オピオイド鎮痛薬の副作用 (B5)</p> <p>2021/2/17 エスワン患者指導について (C4)</p> <p>2021/2/22-3/22 未承認新規医薬品等を用いた医療体制について (web研修)</p> <p>2021/2/22-3/22 麻薬の取扱い・管理について (web研修)</p> <p>2021/3/30 HIV治療薬 (B5)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ((有)・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品の採用について 2 医薬品の購入について 3 調剤室における医薬品の管理について 4 病棟・各部門への医薬品の供給について 5 外来患者への医薬品使用について 6 在宅患者への医薬品使用について 7 病棟における医薬品の管理について 8 入院患者への医薬品使用について 9 医薬品情報の収集・管理・提供について 10 手術・麻酔部門について 11 救急部門・集中治療室について 12 輸血・細胞治療部門について 13 生命維持管理装置領域について 14 臨床検査部門、画像診断部門について 15 歯科領域について 16 他施設との連携について 17 事故発生時の対応について 18 教育・研修について 	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :
 - レトロゾール：排卵誘発
 - アビガン錠：新型コロナウイルス感染症
 - オルベスコ：新型コロナウイルス感染症
 - ブラニケル錠：新型コロナウイルス感染症
 - ナファモスタット：新型コロナウイルス感染症
 - パクリタキセル・イホスファミド・シスプラチン併用療法：陰茎がん
 - 5-FU+シスプラチン：陰茎癌
 - ゲムシタピン・ドセタキセル療法：再発・転移骨肉腫
 - タモキシフェン：治癒切除不能な腹腔内デスマイド
 - リツキサン：抗ドナー抗体陽性症例に対する腎移植
 - カナキマブ・インフリキシマブの併用療法：クリオピリン関連周期熱症候群CAPS
 - アムルピシン：神経内分泌癌
 - リツキシマブ：後天性第V因子欠乏症
 - レポレード：X連鎖血小板減少症
 - リツキサン：後天性血友病A
 - アイクルシグ・ビーリンサイト併用：フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病
 - トラスツズマブ・タキソテール併用療法：唾液腺導管癌

・ その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行い、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収することとしている。

過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。

一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上での警告表示ならびに疑義照会として実施し処方変更を依頼している。

現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（12月、3月） 人工呼吸器研修会（10月、3月） 血液浄化療法研修会（9月） 除細動器研修会（10月、3月） 閉鎖式保育器研修会（8月、2月） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 人工心肺装置及び補助循環装置（年1回） 人工呼吸器（年1回） 血液浄化療法装置（年1回） 除細動器（年1回） 閉鎖式保育器（年1回）
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全医療職員を対象とした講習会（年2回） <ul style="list-style-type: none"> 除細動器および人工呼吸器の安全管理 除細動器および人工呼吸器の安全管理～インシデント事例より学ぶ～ ・ 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知 <ul style="list-style-type: none"> セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ等の取扱い時の注意について パルスオキシメータプローブによる熱傷 再周知特集 その1（人工呼吸器等の取扱い時の注意について） 再周知特集 その2（気管切開チューブ等の取扱い時の注意について） 中心静脈カテーテルのガイドワイヤーの残存 漏電等による医療機器からの出火について 胸腔ドレーン取扱い時の注意について 酸素ポンプの開栓の未確認

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療に関する安全管理のための指針を令和1年6月10日一部改訂し、従来の医療環境安全部を医療安全管理部と感染制御部に改組し、各部門の機能強化を図った。その上で医療安全管理責任者に病院長補佐（安全管理担当：医科）を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (9名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DI ニュースとして発行している（平成31・令和元年度のDI ニュース発行回数：79回）。また、平成28年10月より、1ヶ月の周知状況を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。（直近では令和元年5月にページニオ錠のブルーレターが発出されている）</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。（平成31・令和元年度の医薬品・医療機器安全情報の該当医薬品の処方医への周知：291回、106薬剤、該当患者291名）</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。</p> <p>一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している（警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している）。</p> <p>現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。</p>	

・担当者の指名の有無 (有・無)

・担当者の所属・職種：
 (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤部長) (所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長)
 (所属：薬剤部 ， 職種 医薬品情報主任) (所属：薬剤部 ， 職種 病棟薬剤業務管理主任)
 (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)
 (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況 (有・無)

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
 インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかを確認、審査し、不足追加部分について指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 (有・無)

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
 診療記録の記載方法は、診療情報管理委員会で作成した「診療記録記載要領」に提示している。診療記録の記載内容の確認は、同委員会で作成した「診療記録監査・統計・分析要領」に従い、医療情報部診療情報管理部門で定期的に量的監査をおこなっている。また、診療情報管理 WG においては、多職種での質的監査も実施している。監査結果は、各診療科長へフィードバックするとともに、関連する委員会等で報告している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況 (有・無)

・所属職員：専従 (4) 名、専任 () 名、兼任 (2) 名
 うち医師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (2) 名
 うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 () 名
 うち看護師：専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 () 名
 (注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：
 (1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。
 (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。
 (3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。
 (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。
 (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。
 (6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。
 (7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。
 (8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。
 (9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。
 (10) その他医療安全対策の推進に関すること。

・医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例

月 2 回の医療安全ラウンドにおいて、各部署の従事者に対して、あらかじめ医療安全に関する質問事項を決定し、回答や掲示状況を確認し、モニタリングしている。モニタリング状況は、医療安全管

理委員会で報告し、リスクマネージャー連絡会議において全部署のリスクマネージャーに周知している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有 無）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）
・活動の主な内容：部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対して当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。
実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。
高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有 無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（32件）、及び許可件数（28件）
・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有 無）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）
・活動の主な内容：
未承認新規医薬品等使用の可否の審査
未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認
未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認
未申請で使用されている未承認新規医薬品等の調査

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有 無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 179 件
・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 89 件
・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告
B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有）（病院名： 宮崎大学病院（書面審査））・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有）（病院名： 熊本大学病院（書面審査））・無
- ・技術的助言の実施状況

医療安全管理体制、医薬品安全管理体制、高難易度新規医療技術担当部門等に係る助言について、各部門において検討し、適宜改善を図っている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4月に初任者研修を実施し、受講させている（令和2年度については新型コロナウイルス感染症対策のためeラーニング形式または部門ごとの研修とした。）。中途採用の職員に対しても、毎月eラーニング形式による研修を実施し、受講させている。

その他、病院における全教職員に対して、以下の研修を実施した。

- ・医療安全研修1（e-learning）
期間：令和2年11月2日（月）～令和3年2月12日（金）
- ・医療安全研修2（e-learning）
期間：令和2年12月1日（火）～令和3年2月12日（金）
- ・医療機器に係る安全管理のための研修会
期間：令和3年3月12日（金）～令和3年3月26日（金）
- ・医薬品に係る安全管理のための研修会
期間：令和3年2月22日（月）～令和3年3月22日（月）
- ・医療ガス安全管理研修（eラーニング）
期間：令和3年1月25日（月）～令和3年2月26日（金）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R2. 11. 2)

医療安全管理責任者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R2. 11. 2)

医薬品安全管理責任者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R2. 12. 10)

医療機器安全管理責任者

- ・日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続] (R2. 11. 2)

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構 (主たる機能：一般病院3、副機能：精神科病院)
認定期間：2020. 3. 6～2025. 3. 5

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本機能評価機構ホームページにより公表

・評価を踏まえ講じた措置

制度に基づき、期中の確認を実施

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
<ul style="list-style-type: none"> 基準の主な内容 附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。 <ol style="list-style-type: none"> 医師免許を有している者 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) 公表の方法 鹿児島大学病院ホームページにおいて公表 	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
<ul style="list-style-type: none"> 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>) 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>) 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>) 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有) 無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営管理、経営等に関する重要事項</p> <p>(2) 病院長候補適任者の選考に関する事項</p> <p>(3) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>当該合議体に参加した各所属長を通じて、各部署に伝達している。また、イントラネットに会議資料を掲載し、院内の職員全員が閲覧できる環境を整備している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有) 無)</p> <p>・公表の方法</p> <p>鹿児島大学病院ホームページにより公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 ((有) 無)</p> <p>大学本部から、オブザーバーとして、理事、業務監査監事、会計監査監事が出席し、意見を伺っている。</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
坂本 泰二	○	医師	病院長
石塚 賢治		医師	副病院長
杉浦 剛		歯科医師	副病院長
宇都 由美子		看護師	副病院長
家入 里志		医師	副病院長
大塚 隆生		医師	副病院長
又木 雄弘		医師	副病院長
宮園 幸江		看護師	副病院長
吉浦 敬		医師	副病院長
佐藤 雅美		医師	副病院長
小林 裕明		医師	副病院長
南 弘之		歯科医師	病院長補佐
西尾 善彦		医師	病院長補佐
西谷 佳浩		歯科医師	病院長補佐
高嶋 博		医師	病院長補佐
中村 典史		歯科医師	病院長補佐
吉本 幸司		医師	病院長補佐
松永 明		医師	病院長補佐
大石 充		医師	診療科長
曾我 欣治		医師	診療科長

井戸 章雄		医師	診療科長
井上 博雅		医師	診療科長
浅川 明弘		医師	診療科長
榎田 英樹		医師	診療科長
中村 雅之		医師	診療科長
岡本 康裕		医師	診療科長
谷口 昇		医師	診療科長
金蔵 拓郎		医師	診療科長
山下 勝		医師	診療科長
森山 孝宏		医師	診療科長
杉村 光隆		医師	診療科長
下堂 菌 恵		医師	診療科長
宮脇 正一		歯科医師	診療科長
於保 孝彦		歯科医師	診療科長
山崎 要一		歯科医師	診療科長
野口 和行		歯科医師	診療科長
西村 正宏		歯科医師	診療科長
橋口 照人		医師	部長
垣花 泰之		医師	センター長
新山 修平		医師	副センター長
古川 良尚		医師	部長
谷本 昭英		医師	部長
田口 則宏		歯科医師	部長
上野 真一		医師	センター長
花谷 亮典		医師	センター長
小賤 健一郎		医師	センター長
西 順一郎		医師	部長
大脇 哲洋		医師	センター長
武田 泰生		薬剤師	部長
弓場 裕之		理学療法士	部長
山崎 正人		事務	部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 無)
- ・ 公表の方法
鹿児島大学病院ホームページにより公表している。
- ・ 規程の主な内容
病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意思決定の最終責任者として、業務を掌理する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長
【役割】 医科総括・医療安全担当、歯科総括・医療安全担当、経営戦略（歯科）担当
副病院長（特命）
【役割】 経営分析・広報担当、経営戦略（人事労務）担当、経営戦略（物品機器）担当、病院再開発担当、医療の質・接遇担当、災害対策担当、教育・研修担当、地域連携担当
病院長補佐
【役割】 歯科教育担当、（医科・歯科）診療担当、（医科・歯科）研究担当、病床管理担当、手術担当
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
特定機能病院管理者研修
一般社団法人国立大学病院長会議

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 委員会は、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。</p> <p>(2) 委員会は、必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</p> <p>(3) 委員会は、前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有) 無)</p> <p>・ 公表の方法： 鹿兒島大学病院ホームページにより公表している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO 法人 がんサポートか ごしま		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 業務監査

① 人事事務処理状況に関する監査（実地監査）

・ 労務基準法、労働安全衛生法等の遵守状況

実施時期：令和3年10月1日～令和3年10月29日

② 個人情報管理状況に関する監査（実地監査）

・ 個人情報保護法等の遵守状況

実施時期：令和3年11月1日～令和3年11月30日

③ 法人文書管理状況に関する監査（実地監査）

・ 公文書等の管理に関する法律等の遵守状況

実施時期：令和3年11月1日～令和3年11月30日

④ 情報セキュリティに関する監査（実地監査）

i) 情報セキュリティに関する脆弱性診断

実施時期：令和3年4月1日～令和4年2月28日

ii) 学内事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守状況に関する監査

実施時期：令和3年12月1日～令和3年12月24日

(2) 会計監査

・ 契約、現金・資金管理、収入・支出、旅費、報酬、資産管理、未収債権及び公的研究費の会計処理状況等に関する監査

実施時期：（書面監査）令和3年6月1日～令和3年7月30日

（実地監査）令和3年9月1日～令和3年9月30日

・ 専門部署の設置の有無（有・無）

・ 内部規程の整備の有無（有・無）

・ 内部規程の公表の有無（有・無）

・ 公表の方法

鹿児島大学病院ホームページにより公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会で、病院の経営状況について確認を行う。 ・ 会議体の実施状況（年6回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無）（年6回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表している。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)
・ 通報件数 (年0件)
・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)
・ 周知の方法 鹿兒島大学ホームページ及び鹿兒島大学病院ホームページにより周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院概要及病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等について公表している。</p> <p>また、ホームページにおいて、各診療科の特色を発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>救急患者及び複数疾患等においては、診療科を超えて連携して治療にあたっている。</p> <p>医科歯科連携により、医科の病気で入院される患者さんに対し、適切な口腔ケアを徹底して行うことで、イレギュラーな入院の長期化を防ぎ、総体的な入院期間の短縮に貢献している。</p>	